

平成 21 年度 市民意識調査報告書

平成 22 年 3 月

堺 市

はじめに

少子・高齢化の進展やグローバル化の進展など、社会経済情勢の変化が激しくなる中、市民のみなさんの意識やライフスタイルを的確にとらえ、市民ニーズに対応した行政運営を行うことが求められています。

こうしたことから、今回の調査では、20歳以上の市民10,000人を対象に、身近な生活環境や定住意向、市の取組に対する今後の重要度やまちの将来イメージについての意識等をお聞きしました。

これらの調査結果は、今後の市政運営のための貴重な資料として、市政各般の推進に活用してまいります。

終わりに、調査にご協力いただきました市民のみなさんをはじめ、関係団体の方々に厚く御礼申し上げます。

平成22年3月

堺市長 竹山 修身

<目次>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査期間	1
(4) 回収結果	1
(5) 調査の精度	2
(6) 調査項目	3
3. 報告書の見方	3
II. 回答者の基本属性	4
1. 居住地域	4
2. 性別	4
3. 年代	4
4. 家族構成	5
5. 同居家族	5
6. 職業	5
7. 通勤地・通学地	6
8. 住宅の所有形態	6
9. 居住年数	6
III. 調査結果	7
1. 生活環境について	7
(1) 身近な生活環境	7
(2) 日常生活に不便を感じる施設	16
2. 市政について	22
(1) 市の取組に対する「今後の重要度」	22
3. 住むことについて	25
(1) 住む場所の選び方	25
(2) 今後の定住意向について	26
(3) 引っ越したい理由について	31
(4) 引っ越したい場所について	32
(5) 堺市内で引っ越したい場所について	33
(6) 堺市外で引っ越したい場所について	34
4. 堺のまちについて	35
(1) 公共交通の便利さについて	35
(2) 交通とまちづくりの考え方について	37
(3) 堺市内をめぐる公共交通の重要性について	38
(4) 堺のまちの強み	40
(5) 将来のまちのイメージ	42

1. 調査の概要

1. 調査の目的

本市では、昭和 45 年以降、概ね 5 年ごとに、市政やまちづくりをはじめ、社会・生活などに対する市民意識を把握し、市政運営の基礎資料として活用するため、市民意識調査を実施している。

平成 21 年度調査は、市民の市政や生活環境に対する評価を中心として、定住意向やまちへの意識・イメージなどを調査・分析し、今後の政策形成などの基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 実施概要

(1) 調査対象

平成 21 年 5 月末時点で 20 歳以上の市民から区別人口比、性比を考慮し、10,000 人を無作為に抽出した。

(2) 調査方法

郵送による発送・回収を行った。また、調査期間中に、調査対象者全員に協力依頼はがきを送付した。

(3) 調査期間

平成 21 年 7 月 1 日～平成 21 年 7 月 21 日

(平成 21 年 6 月 30 日発送、回答期限：平成 21 年 7 月 14 日)

(4) 回収結果

図表 1-1 回収結果

発送数	未着数	実発送数	有効回答数	有効回答率
10,000	46	9,954	5,353	53.8%

図表 1-2 これまでの市民意識調査の回収率

調査実施時期	有効回収標本数	回収率	督促はがき	再度調査票郵送
第1回(S45.11)	5,102	63.5%	あり	なし
第2回(S49.11)	5,769	62.0%	あり	なし
第3回(S54.11)	7,781	76.2%	あり	なし
第4回(S59.10)	7,907	71.5%	あり	あり
第5回(S63.7)	6,938	35.2%	なし	なし
第6回(H5.6)	8,799	44.3%	なし	なし
第7回(H10.8)	4,236	42.7%	なし	なし
第8回(H17.2)	4,636	46.7%	あり	なし
今回(H21.7)	5,353	53.8%	あり	なし

(5) 調査の精度

本調査は標本調査であるため、ここで得た調査結果から母集団の意識を推定している。調査の精度をみるため、5%区切りの主要な測定値について、信頼区間 1/2 幅を算出すると以下のとおりである。

$$1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

P:標本の推定値(%)

N:母集団数(688, 599)

n:標本数(5, 353)

(注) 母集団数(N)は、平成 21 年5月末の住民基本台帳と外国人登録における 20 歳以上人口の合計。

図表 1-3 信頼度 95%における主要な測定値(%)の信頼区間の 1/2 幅

測定値 (%)		1/2幅							
		全市	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区
50		1.33	3.20	3.55	4.05	3.37	2.99	3.19	6.41
45	55	1.33	3.19	3.53	4.03	3.35	2.98	3.18	6.38
40	60	1.31	3.14	3.47	3.97	3.30	2.93	3.13	6.28
35	65	1.27	3.06	3.38	3.87	3.21	2.86	3.04	6.12
30	70	1.22	2.94	3.25	3.71	3.09	2.74	2.92	5.88
25	75	1.16	2.78	3.07	3.51	2.92	2.59	2.76	5.55
20	80	1.07	2.56	2.84	3.24	2.69	2.39	2.55	5.13
15	85	0.95	2.29	2.53	2.89	2.41	2.14	2.28	4.58
10	90	0.80	1.92	2.13	2.43	2.02	1.80	1.91	3.85
5	95	0.58	1.40	1.55	1.77	1.47	1.30	1.39	2.79

(参考) たとえば、問1 身近な生活環境への満足度(7ページ参照)のうち『ふだんの買い物の便利さ』の「まあ満足している」が全市 50.3%となっている。この表により、標本測定値 50%の場合の信頼区間の 1/2 幅は全市で 1.33 である。このことは、調査を 100 回行えば、95 回までは 50.3 ± 1.33% の人が「まあ満足している」と答えると推定されることを意味する。

(6) 調査項目

調査項目は、以下のとおりである。

図表 1-4 調査分野と調査項目

分野	設問番号	設問項目
A．生活環境について	問 1	身近な生活環境
	問 2	日常生活に不便を感じる施設
B．市政について	問 3	市の取組に対する「今後の重要度」
C．住むことについて	問 4	住む場所の選び方
	問 5	今後の定住意向
	問 6	引っ越したい理由
	問 7	引っ越したい場所
	問 8	堺市内で引っ越したい場所
	問 9	堺市外で引っ越したい場所
D．堺のまちについて	問 10-1	公共交通の便利さ
	問 10-2	交通とまちづくりの考え方
	問 10-3	堺市内をめぐる公共交通の重要性
	問 11	堺のまちの強み
	問 12	将来のまちのイメージ

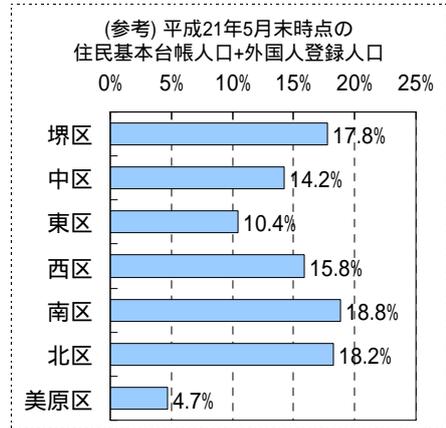
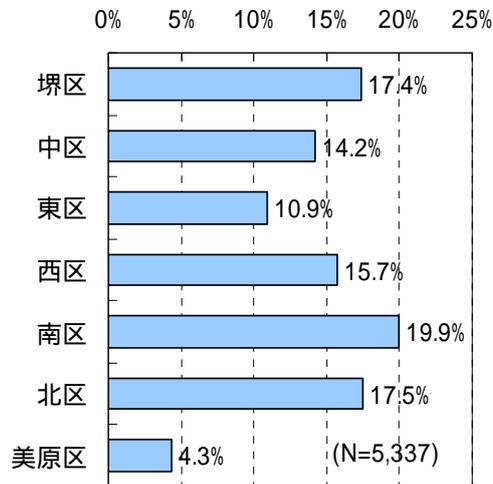
3. 報告書の見方

- (1) 集計対象件数は 5,353 件である。
- (2) 回答は、各質問の回答者数 (N) を基数とした百分率 (%) で示している。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- (3) 各設問に対する無回答は集計から省いた。
- (4) 回答があっても、小数点第 2 位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、図表には「0.0%」と示している。
- (5) 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

II. 回答者の基本属性

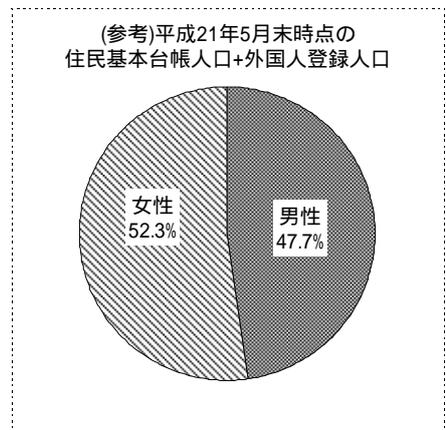
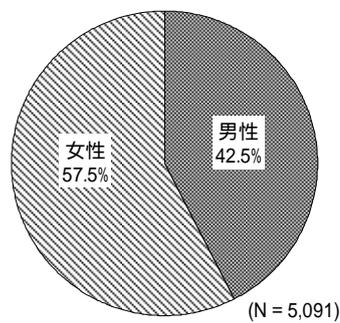
1. 居住地域

図表 II-1 居住地域



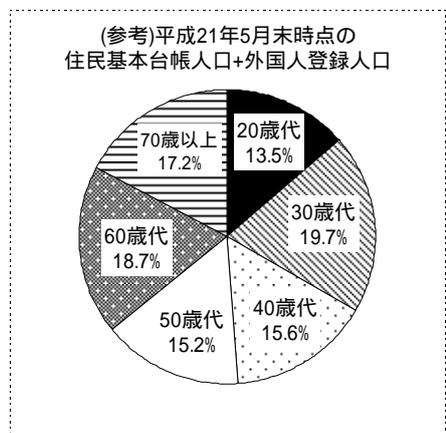
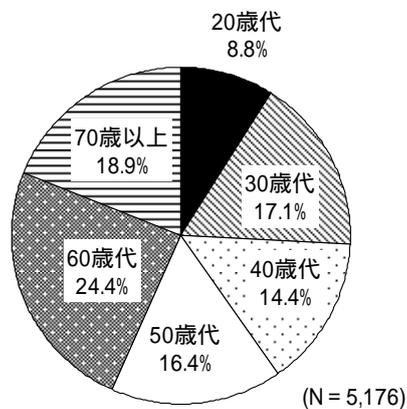
2. 性別

図表 II-2 性別



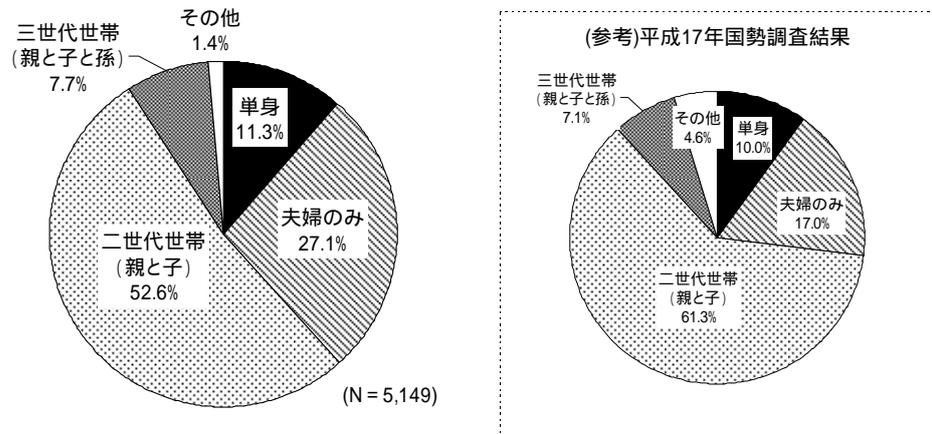
3. 年代

図表 II-3 年代



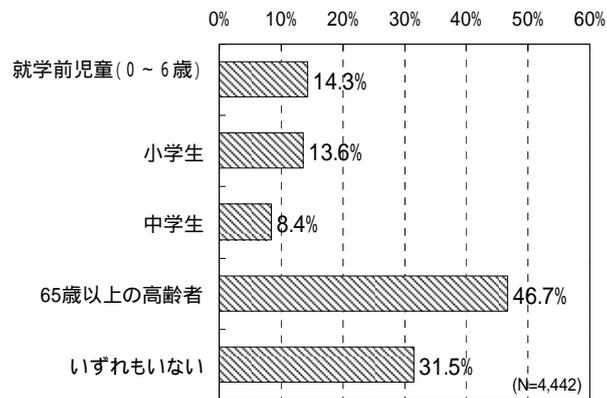
4. 家族構成

図表 11-4 家族構成



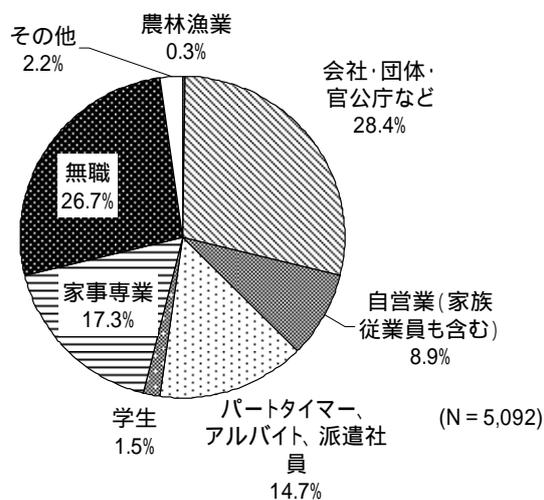
5. 同居家族

図表 11-5 同居家族



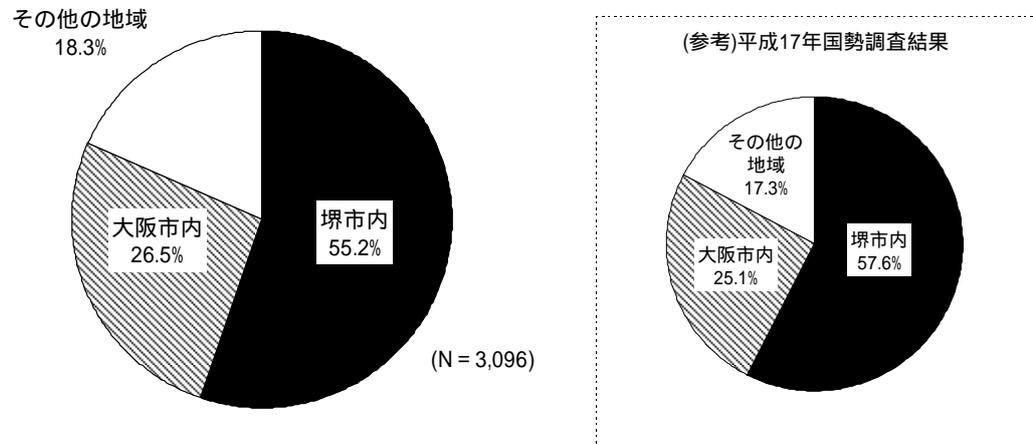
6. 職業

図表 11-6 職業



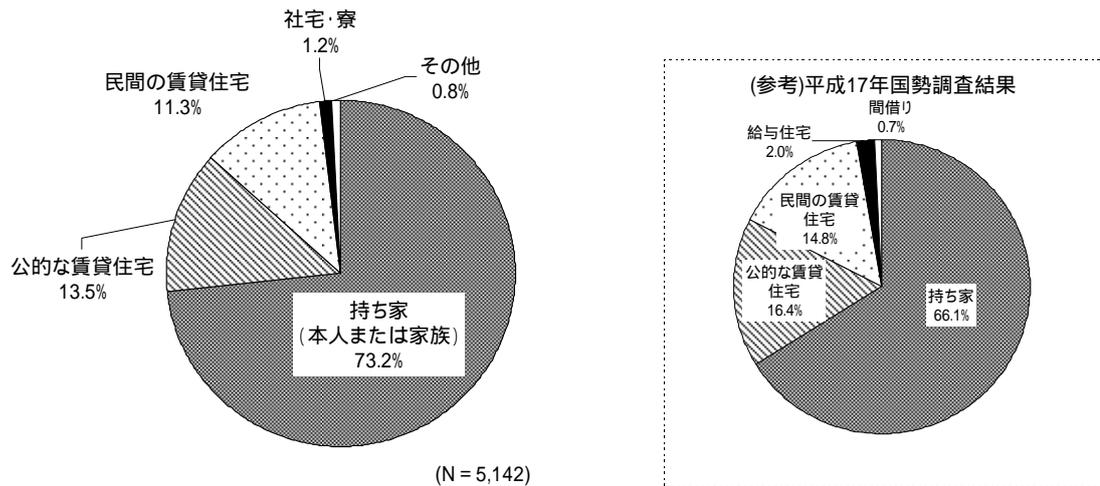
7. 通勤地・通学地

図表 11-7 勤務地または通学地



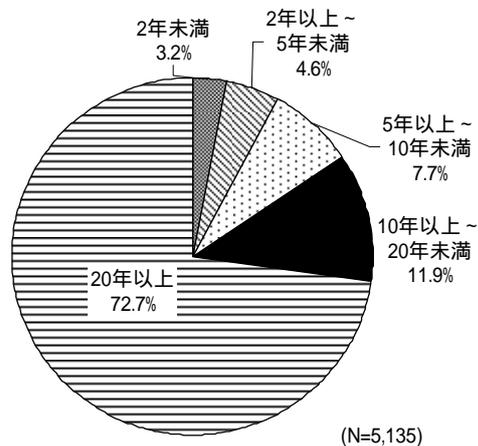
8. 住宅の所有形態

図表 11-8 住宅の所有形態



9. 居住年数

図表 11-9 居住年数



III. 調査結果

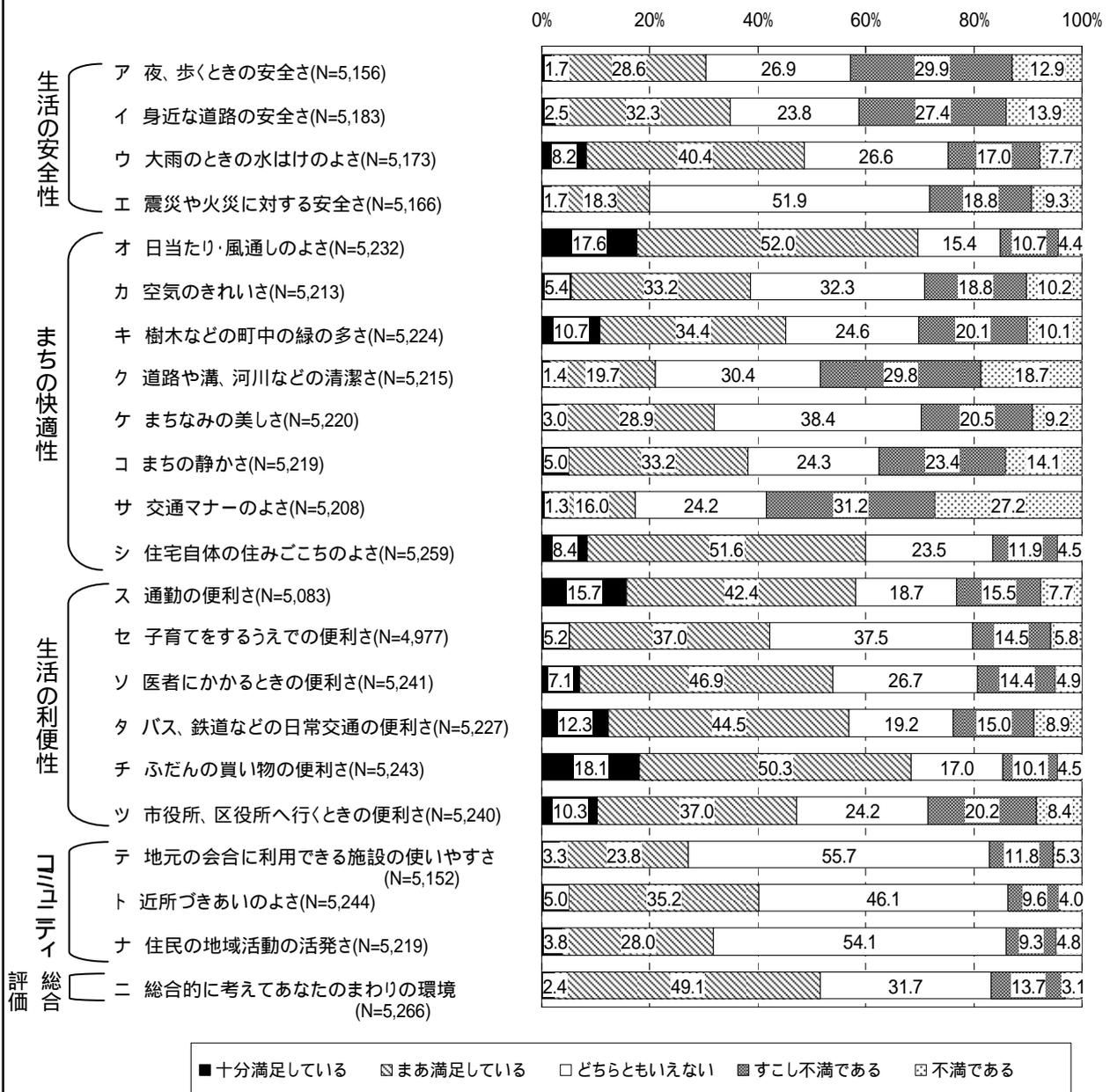
1. 生活環境について

(1) 身近な生活環境

問1 身近な生活環境について

あなたが住んでいる地区（町内会や小学校区くらいの範囲）の環境について、どのように感じていますか。（ア～ニの各項目について は1つずつ）

図表 III-1 身近な生活環境の満足度



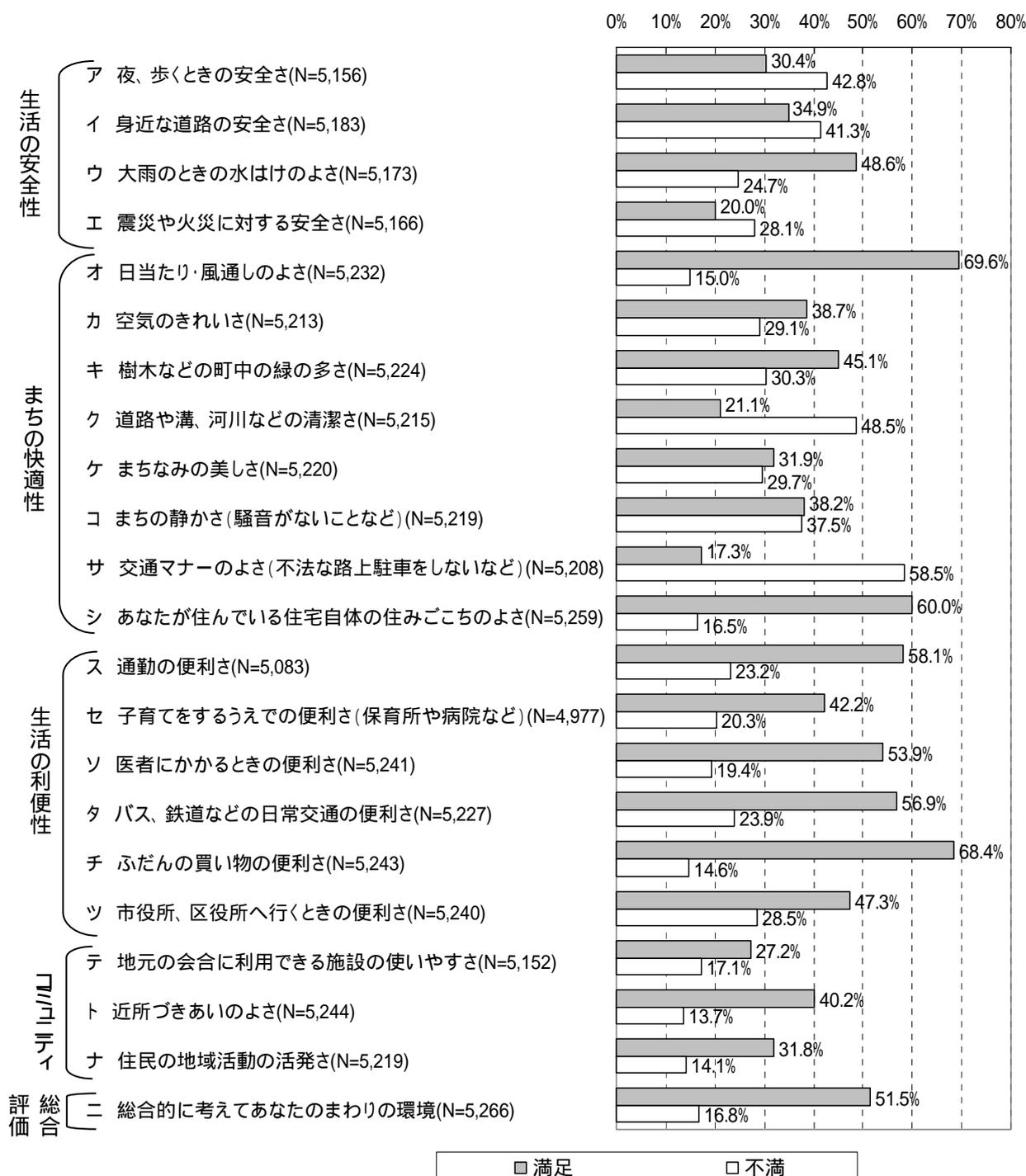
半数近くの人が、総合的に考えて生活環境は「満足」と回答

- * 「生活の利便性」については、買い物や通勤の便利さなど、全般的に「満足」の割合が高い
- * 「生活の安全性」については、「夜、歩くときの安全さ」や「身近な道路の安全さ」で「不満」の割合が高い
- * 区域別では、南区の「まちの快適性」に対する評価点の高さ、美原区の「生活の利便性」に対する評価点の低さが顕著

<総括>

- ・ 「満足」の割合が高い項目は、「チ ふだんの買い物の便利さ」「ス 通勤の便利さ」など、「生活の利便性」に関する項目のほか、「オ 日当たり・風通しのよさ」、「シ あなたが住んでいる住宅自体の住みごこちのよさ」。
- ・ 「不満」の割合が高い項目の上位は、「サ 交通マナーのよさ」、「ク 道路や溝、河川などの清潔さ」のほか、「生活の安全性」に関する「ア 夜、歩くときの安全さ」、「イ 身近な道路の安全さ」。

図表 III-2 身近な生活環境の満足度(満足・不満別)



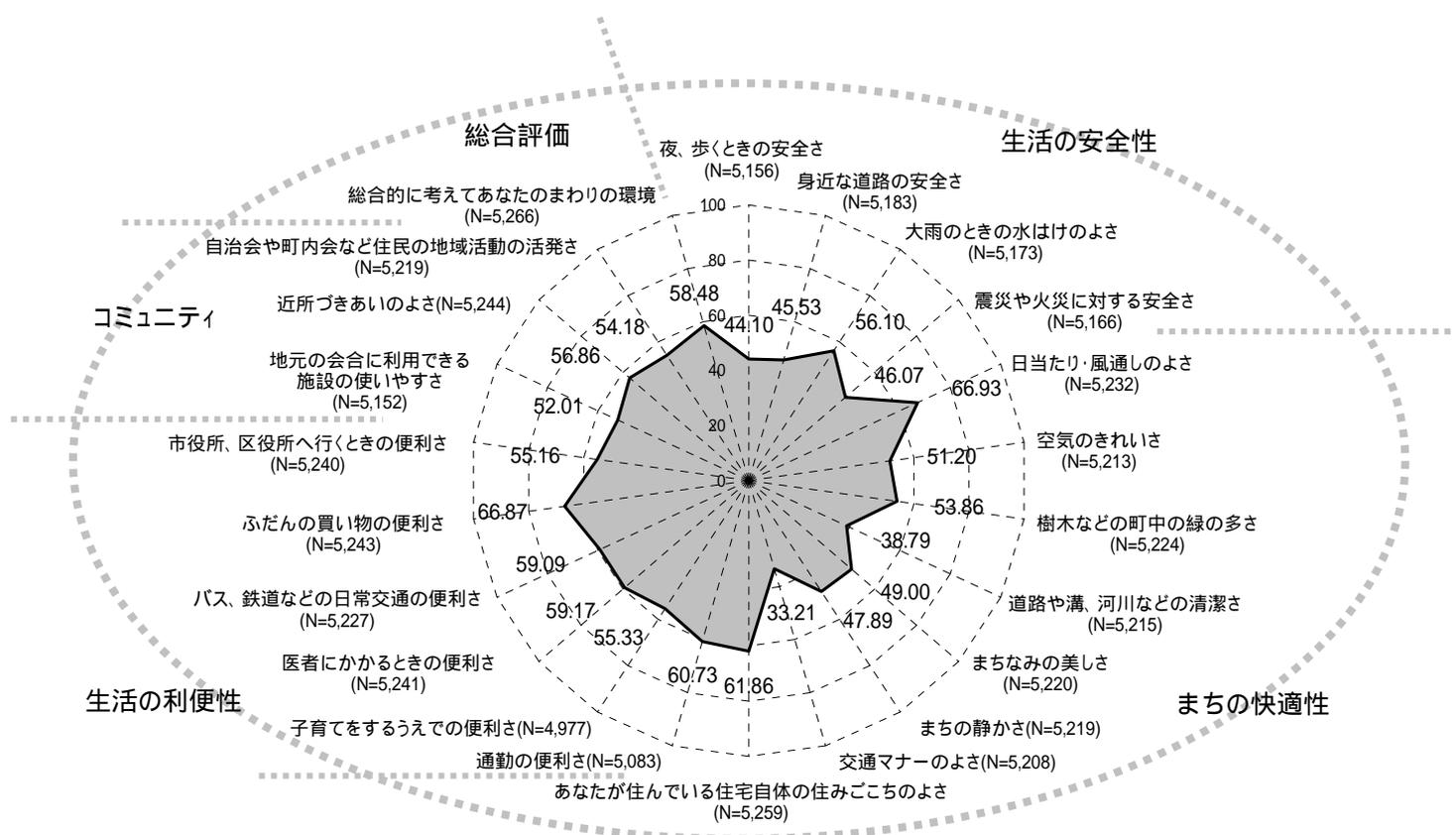
(注) 「十分満足している」と「まあ満足している」の合計を「満足」、「少し不満である」と「不満である」の合計を「不満」として表した。

< 平均評価点（全市） >

- ・ 「生活の利便性」に関する項目は全般的に評価点が高く、特に「チ ふだんの買い物の便利さ」の評価点が高い。
- ・ 「生活の安全性」に関する項目では、「ウ 大雨のときの水はけのよさ」の評価点が高く、「ア 夜、歩くときの安全さ」、「イ 身近な道路の安全さ」、「エ 震災や火災に対する安全さ」の評価点が低い。
- ・ 「まちの快適性」に関する項目では、「オ 日当たり・風通しのよさ」と「シ あなたが住んでいる住宅自体の住みごちのよさ」の評価点が高く、「サ 交通マナーのよさ」、「ク 道路や溝、河川などの清潔さ」の評価点が低い。

図表 III-3 身近な生活環境の満足度 平均評価点(全市)

[全市]



(注) 個別項目に対する評価に下記の得点を与え、満足度に対する平均評価点を求めた

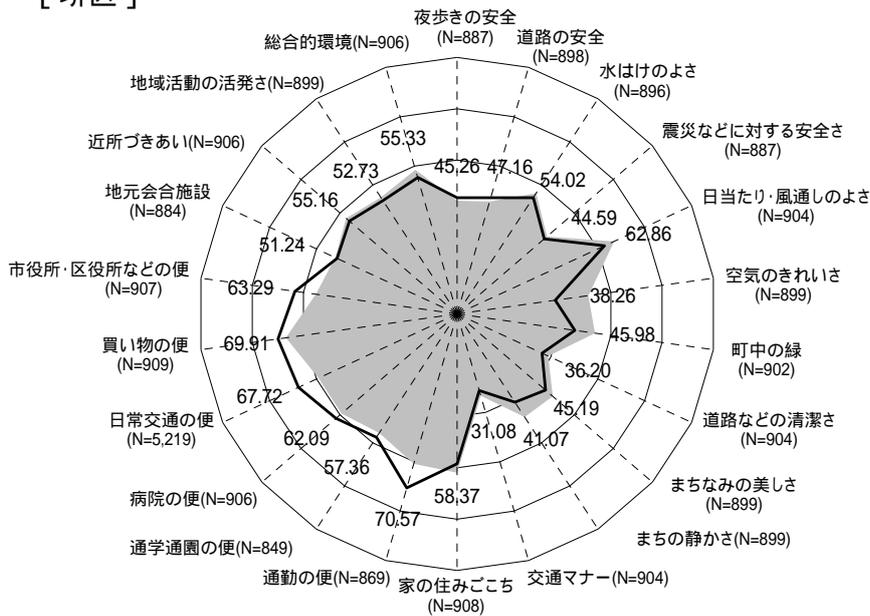
「十分満足している」	100点
「まあ満足している」	75点
「どちらともいえない」	50点
「すこし不満である」	25点
「不満である」	0点

< 平均評価点 (区域別) >

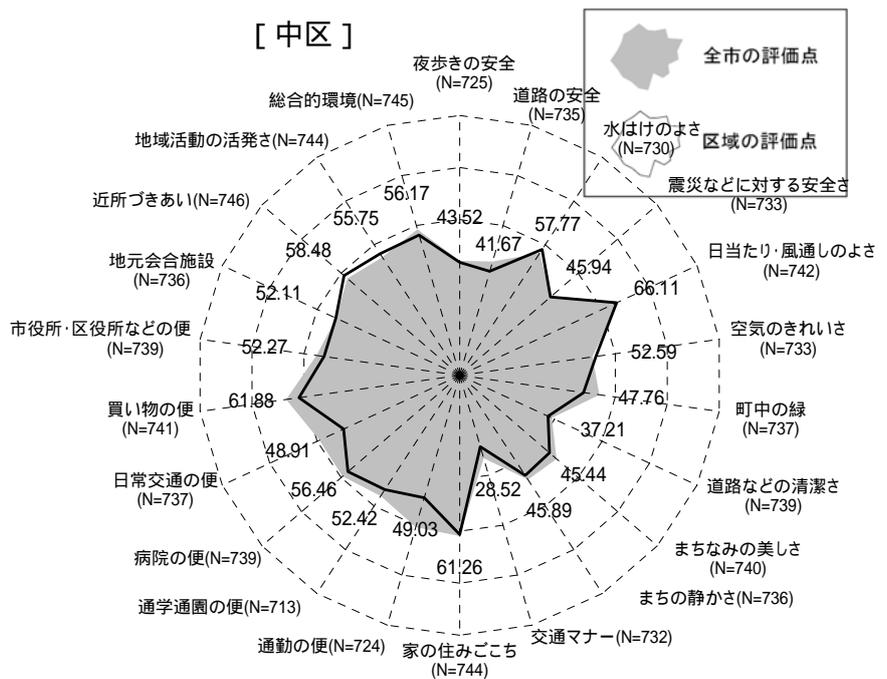
- ・ 堺区と北区は、「生活の利便性」に関する項目の評価点が全市平均に比べ、高い。
- ・ 中区は、「生活の利便性」に関する項目の評価点が全市平均に比べ、やや低い。
- ・ 南区は、「まちの快適性」、「生活的安全性」に関する項目の評価点が全市平均に比べ、高い。
- ・ 美原区は、「生活の利便性」に関する項目の評価点が全市平均に比べ、低い

図表 III-4 身近な生活環境の満足度 平均評価点(区域別)

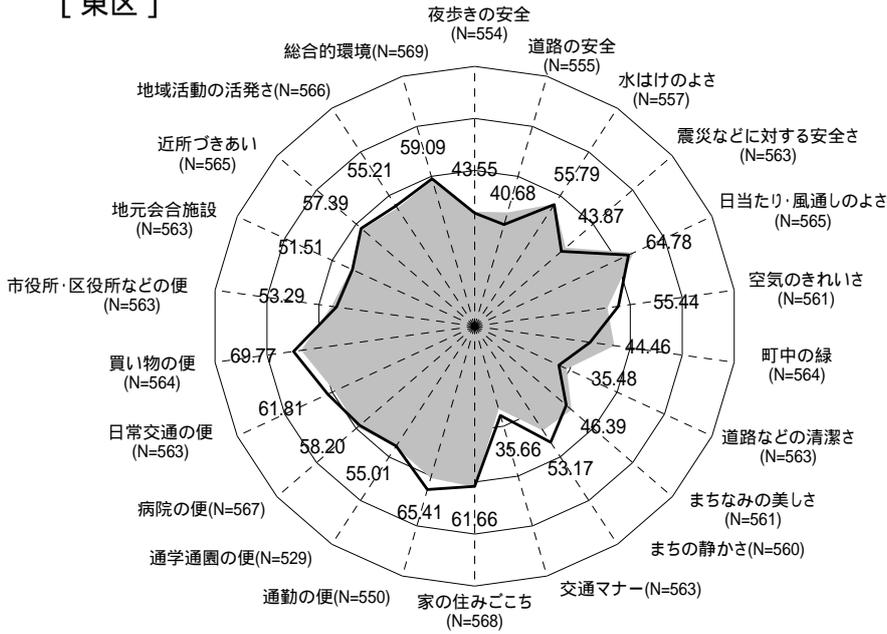
[堺区]



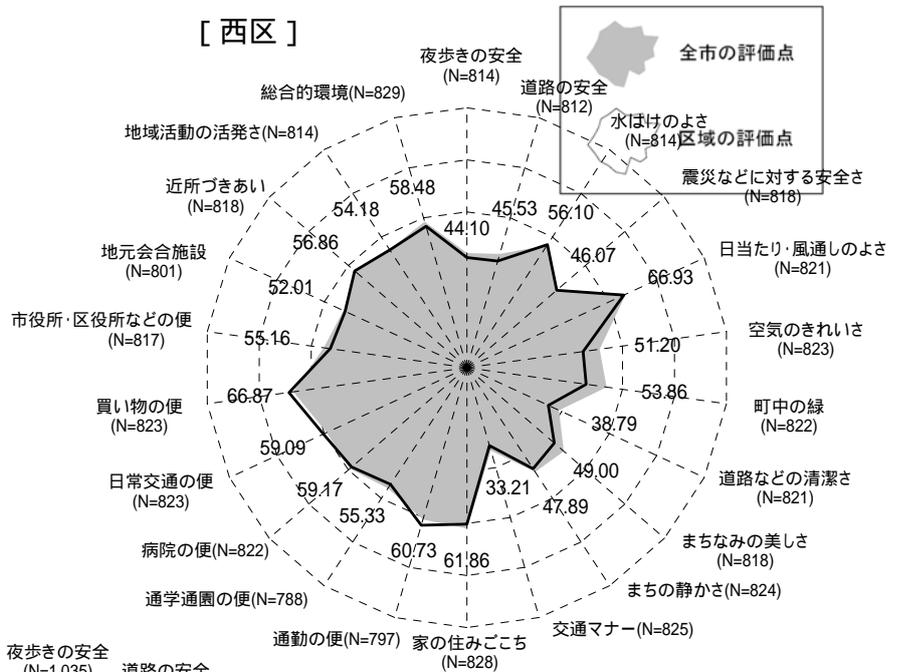
[中区]



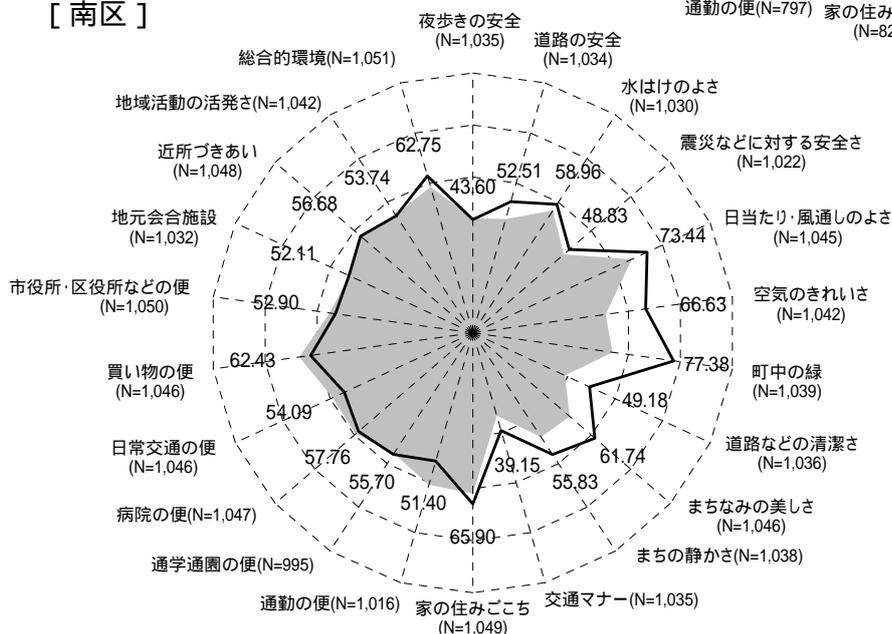
[東区]



[西区]



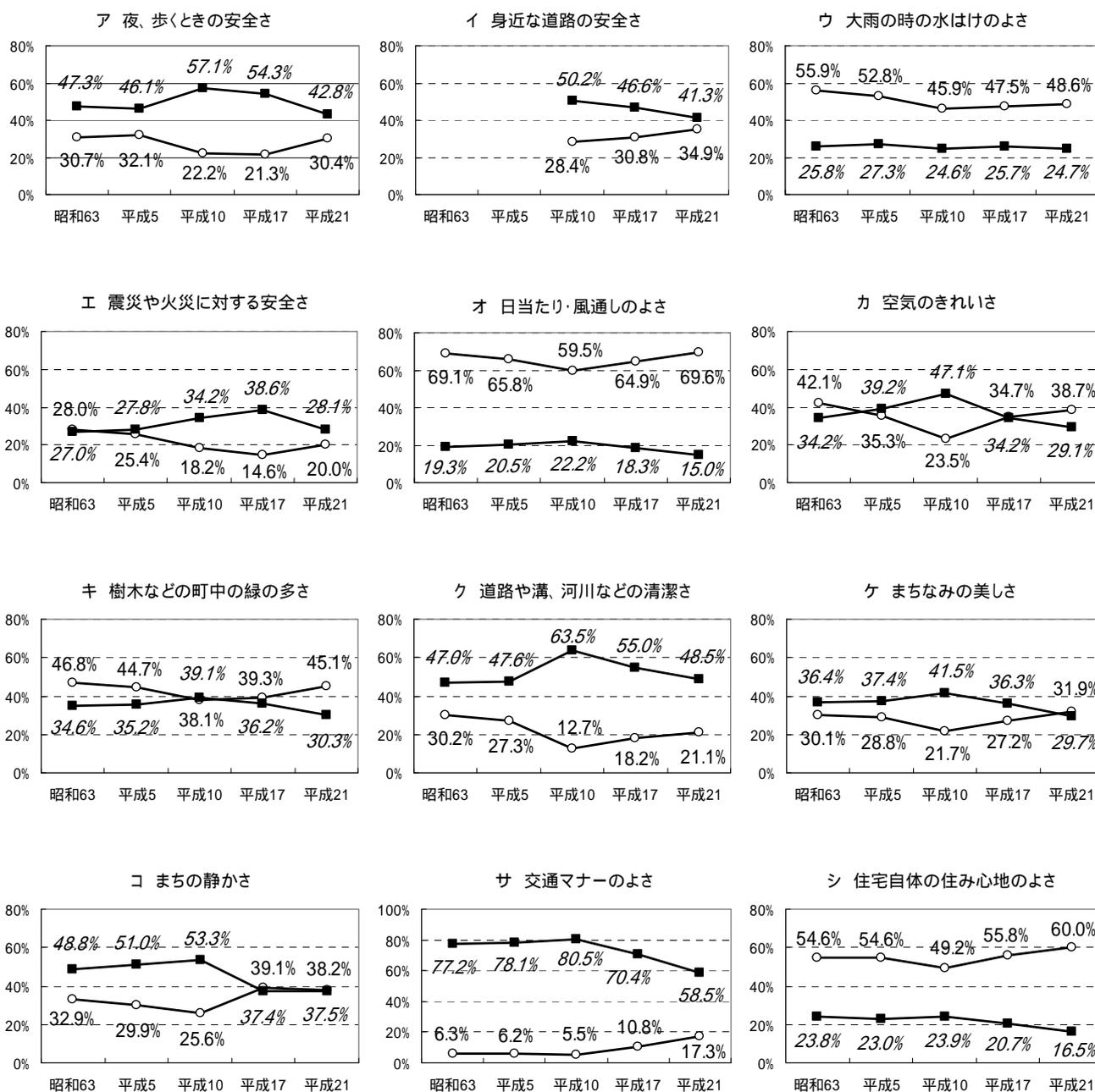
[南区]



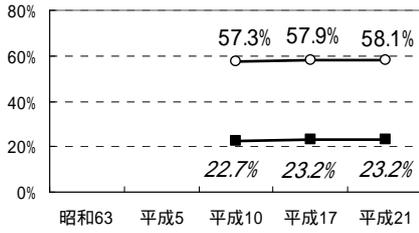
<時系列>

- ・ 「生活の安全性」については、「夜、歩くときの安全さ」、「身近な道路の安全さ」、「震災や火災に対する安全さ」の「満足」の割合が上昇。
- ・ 「まちの快適性」については、ほとんどの項目で「満足」の割合が上昇傾向。
- ・ 「総合評価」に対する「満足」の回答割合は、前回調査を約6ポイント上回り、回答者の概ね半数を占めている。

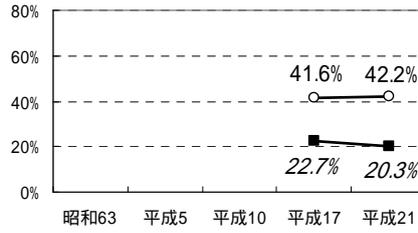
図表 III-5 時系列 身近な生活環境の満足度



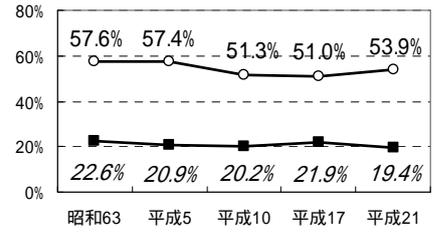
ス 通勤の便利さ



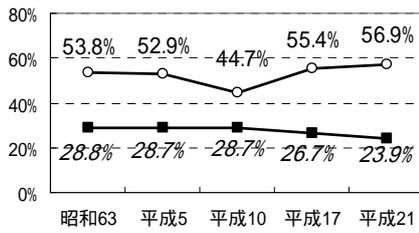
セ 子育てをするうえでの便利さ



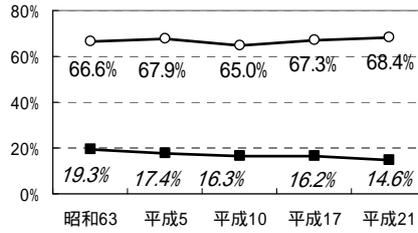
ソ 医者にかかるときの便利さ



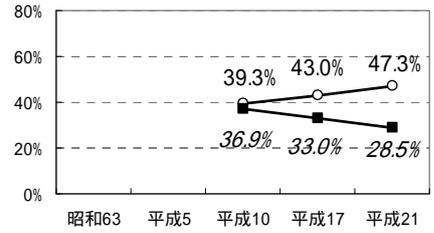
タ バス、鉄道などの日常交通の便利さ



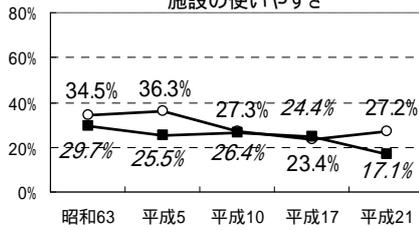
チ ふだんの買い物の便利さ



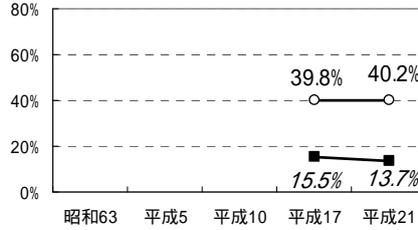
ツ 市役所、区役所へ行くときの便利さ



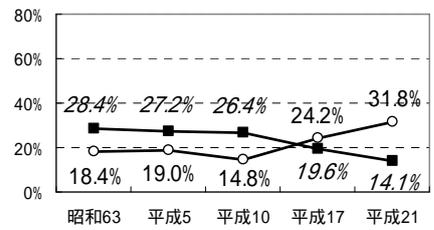
テ 地元の会合に利用できる施設の使いやすさ



ト 近所づきあいのよさ

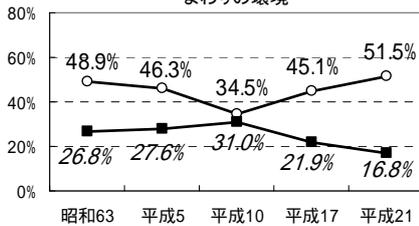


ナ 住民の地域活動の活発さ



[総合評価]

二 総合的に考えてあなたのまわりの環境



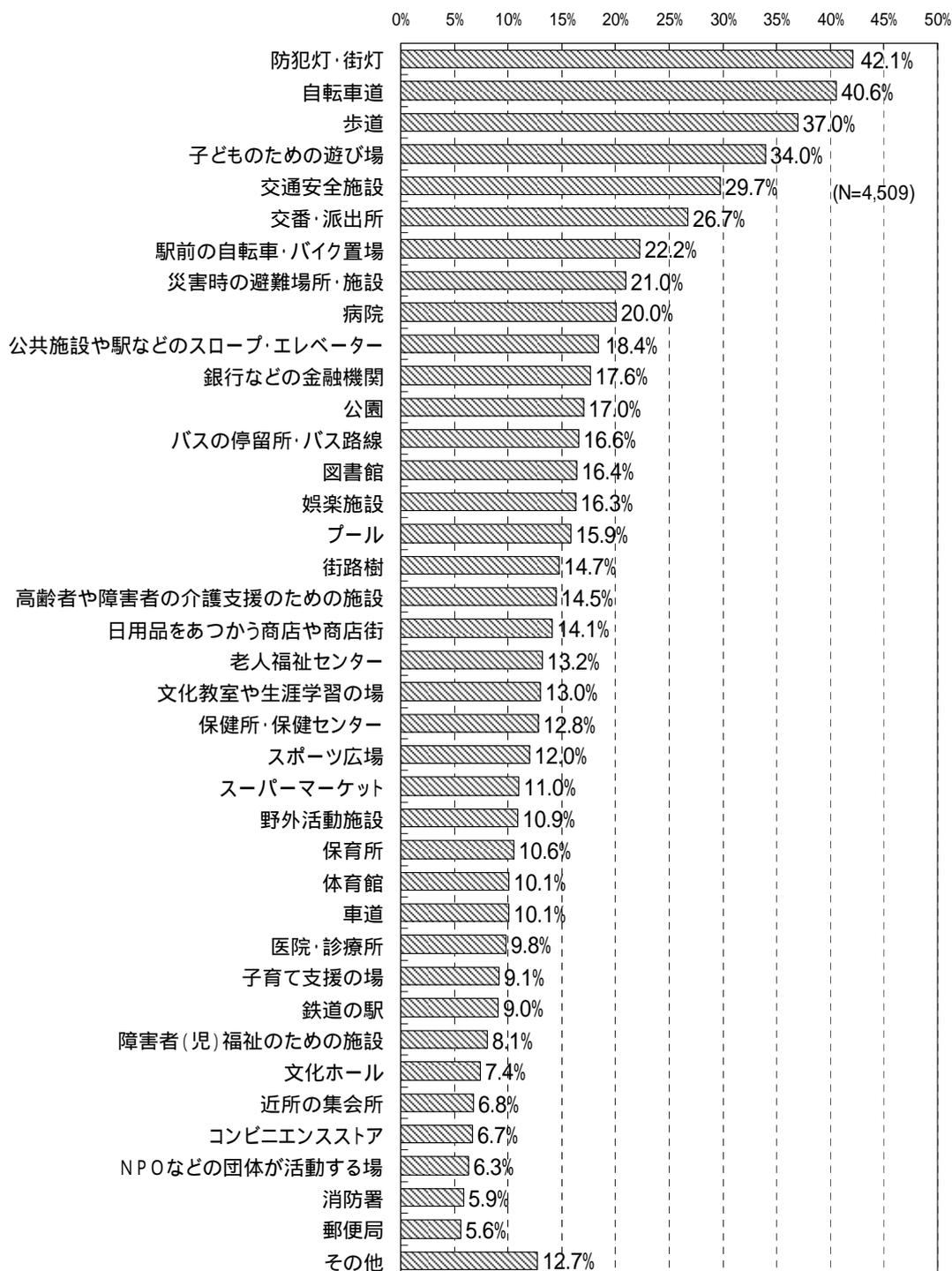
○ 満足
■ 不満

(2) 日常生活に不便を感じる施設

問2 日常生活に不便を感じる施設について

あなたが日常生活をおくるにあたって、不十分であるとか、それがないために困っていると感じているものは何ですか。(あてはまるもの全てに)

図表 III-6 日常生活に不便を感じる施設



不便と感じる施設は、「防犯灯・街灯」、「自転車道」、「歩道」が上位

- * 防犯、交通安全に関連する施設が上位
- * 多くの区域（堺区、西区、南区、北区）で「防犯灯・街灯」が1位
- * 美原区では「鉄道の駅」が2位

<総括>

- ・ 「防犯灯・街灯」、「自転車道」、「歩道」、「交通安全施設」など、防犯や交通安全に関連するもののほか、「子どものための遊び場」が上位。

< 区域別 >

- ・ 堺区、西区、南区、北区では「防犯灯・街灯」が1位。
- ・ 中区、東区、美原区では「歩道」が1位。
- ・ 多くの区で「自転車道」が上位。
- ・ 美原区では、「鉄道の駅」が2位。

図表 III-7 区域別 日常生活に不便を感じる施設(上位5項目)

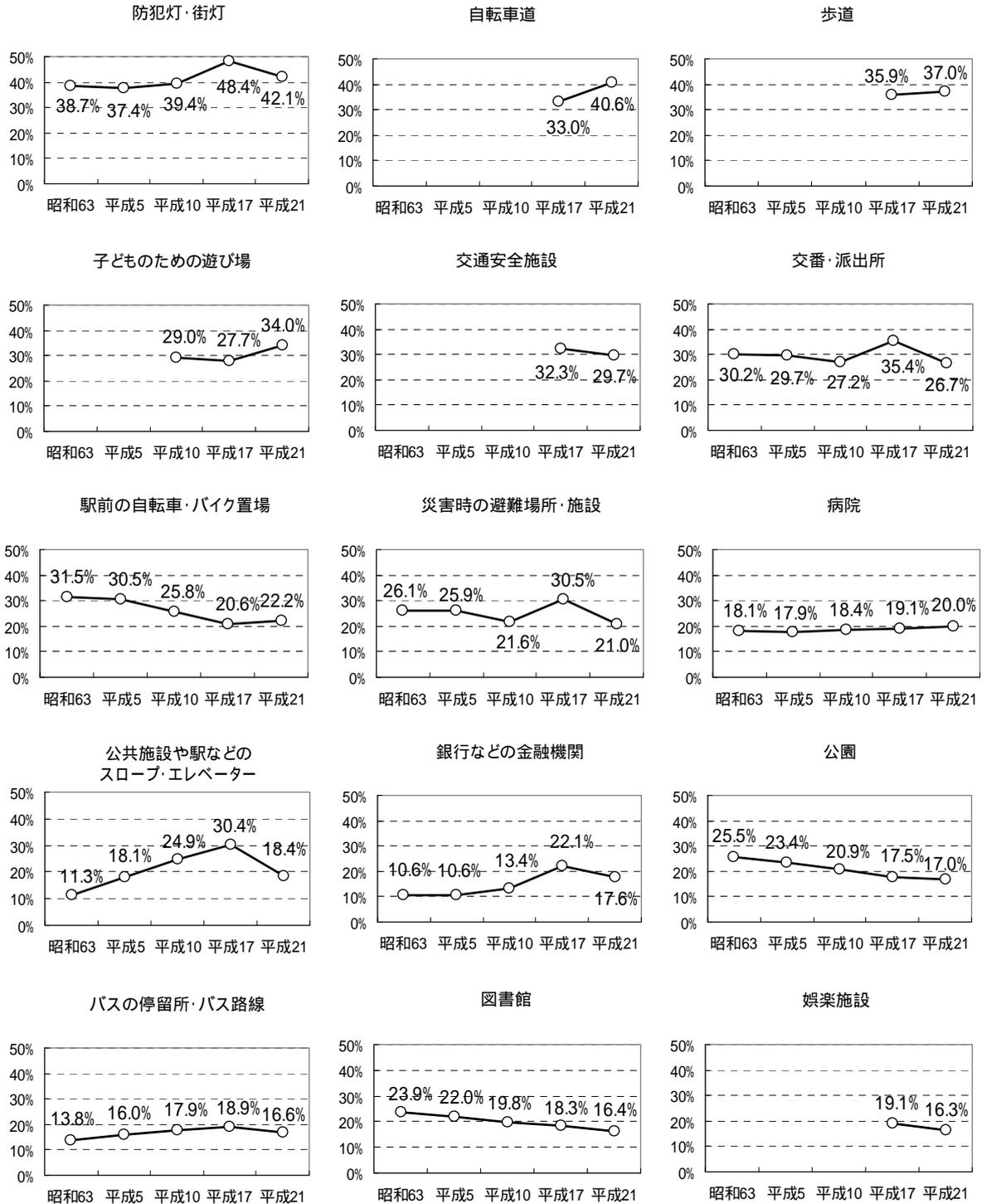
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
堺区 (N=769)	防犯灯・街灯 43.7%	自転車道 37.7%	子どものための遊び場 35.9%	駅前の自転車・バイク置場 34.6%	歩道 26.9%
中区 (N=633)	歩道 44.5%	自転車道 43.6%	防犯灯・街灯 40.1%	子どものための遊び場 34.8%	交通安全施設 34.6%
東区 (N=508)	歩道 54.5%	自転車道 52.0%	子どものための遊び場 38.6%	防犯灯・街灯 35.2%	交通安全施設 32.5%
西区 (N=736)	防犯灯・街灯 46.6%	歩道 43.2%	自転車道 41.8%	子どものための遊び場 37.5%	交通安全施設 35.1%
南区 (N=863)	防犯灯・街灯 43.8%	自転車道 32.9%	子どものための遊び場 31.5%	交通安全施設 26.3%	歩道 24.6%
北区 (N=783)	防犯灯・街灯 41.1%	自転車道 40.5%	歩道 34.2%	子どものための遊び場 28.9%	交番・派出所 28.4%
美原区 (N=205)	歩道 47.3%	鉄道の駅 46.8%	自転車道 40.0%	防犯灯・街灯 39.5%	病院 38.0%

全市第1位
 全市第2位
 全市第3位

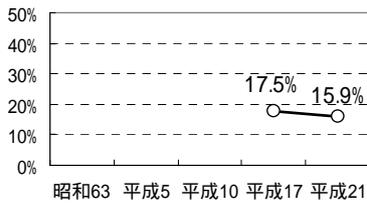
<時系列>

- ・ 「防犯灯・街灯」や「交番・派出所」、「災害時の避難場所・施設」、「公共施設や駅などのスロープ・エレベーター」を不便と感じる回答割合は、前回調査から大きく低下。
- ・ 今回調査で不便を感じる回答割合が大幅に上昇した項目は、「自転車道」、「子どものための遊び場」。

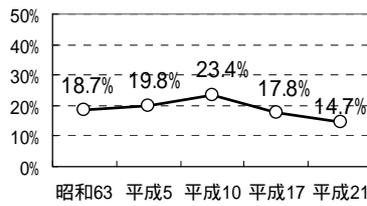
図表 III-8 時系列 日常生活に不便を感じる施設



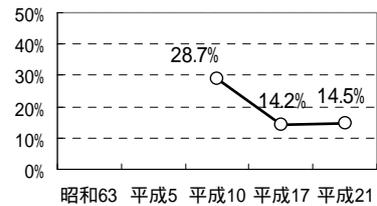
プール



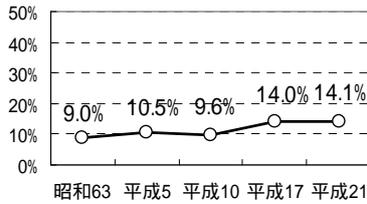
街路樹



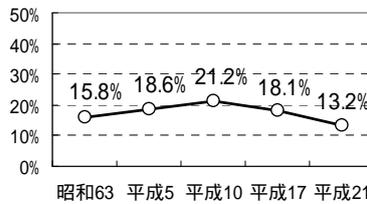
高齢者や障害者の介護支援のための施設



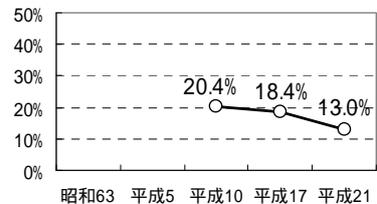
日用品をアツかう商店や商店街



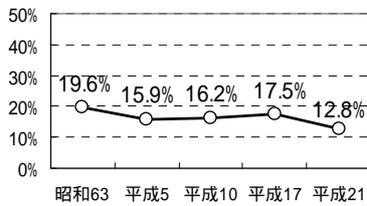
老人福祉センター



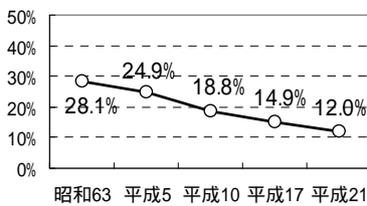
文化教室や生涯学習の場



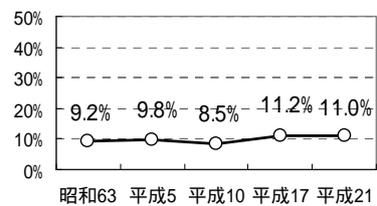
保健所・保健センター



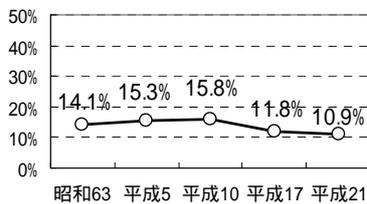
スポーツ広場



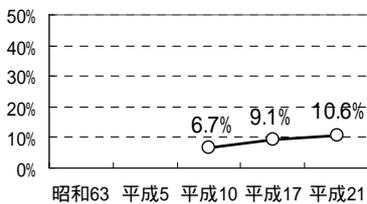
スーパーマーケット



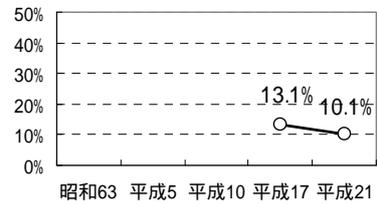
野外活動施設



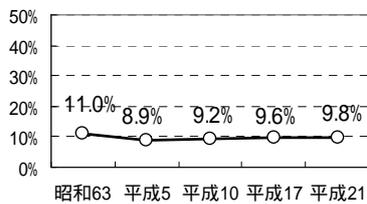
保育所



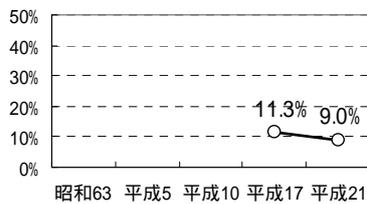
体育館



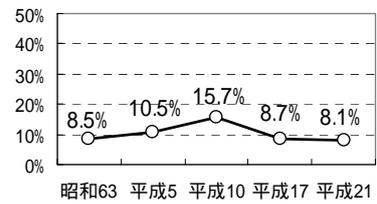
医院・診療所



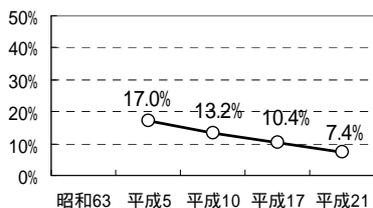
鉄道の駅



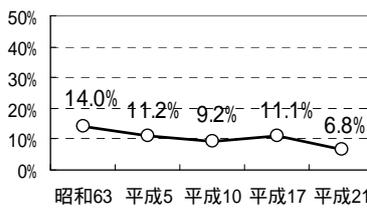
障害者(児)福祉のための施設



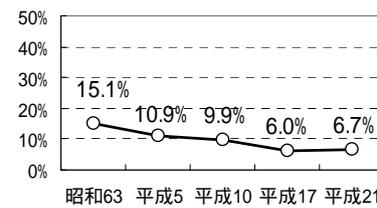
文化ホール



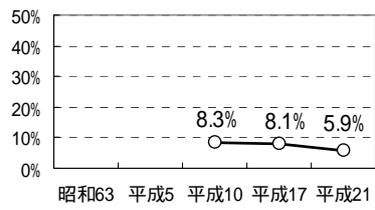
近所の集会所



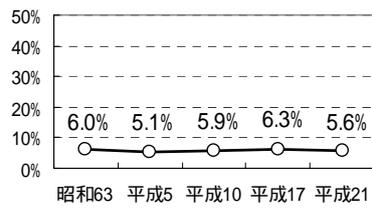
コンビニエンスストア



消防署



郵便局



(注)今回調査で初出の項目は除いている。

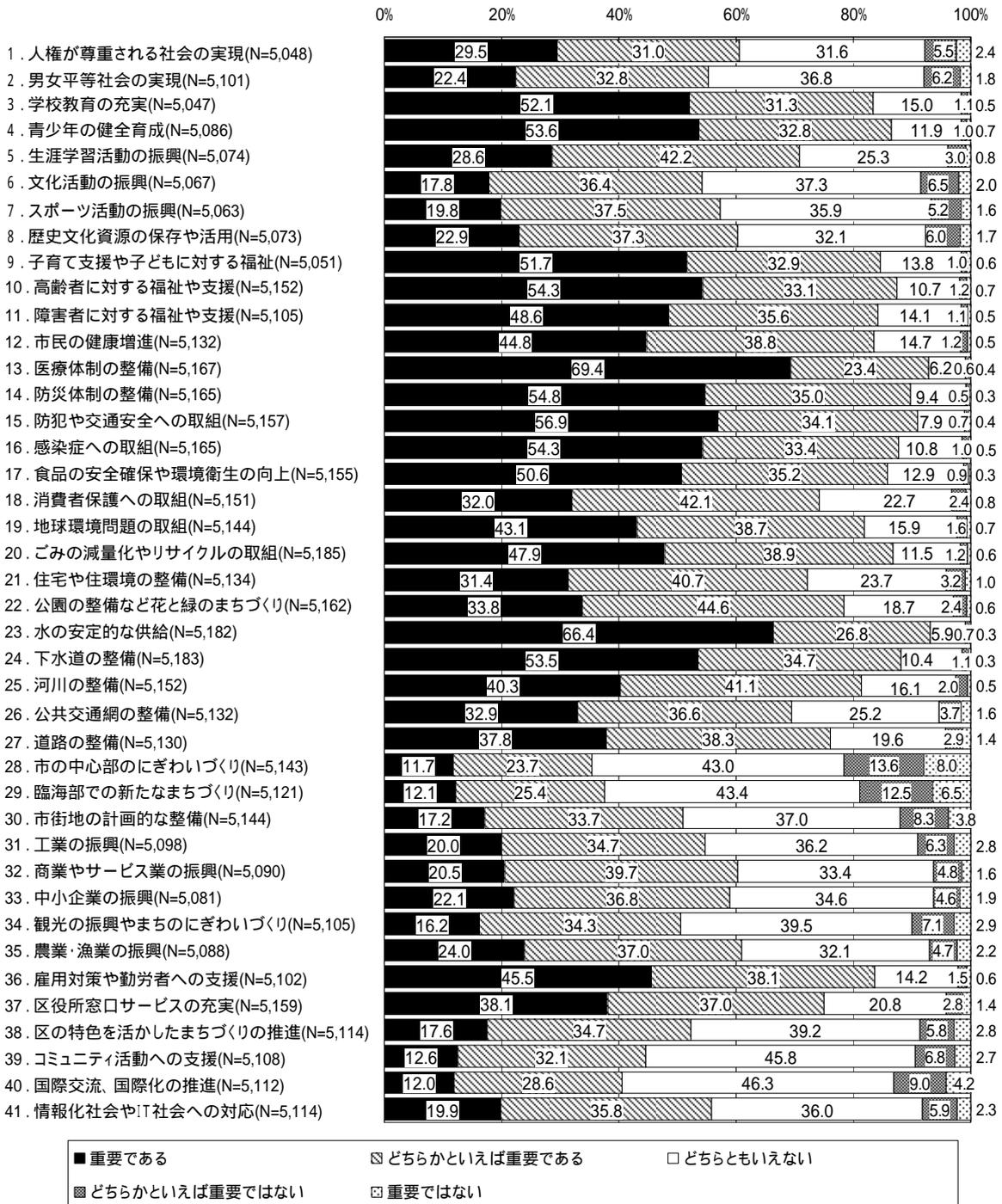
2. 市政について

(1) 市の取組に対する「今後の重要度」

問3 市の取組に対する「今後の重要度」について

あなたは、次の各項目について、市が今後のまちづくりを進めるうえで、どのくらい重要であると思われますか。(1～41の各項目のそれぞれについて は1つつ)

図表 III-9 市の取組に対する「今後の重要度」

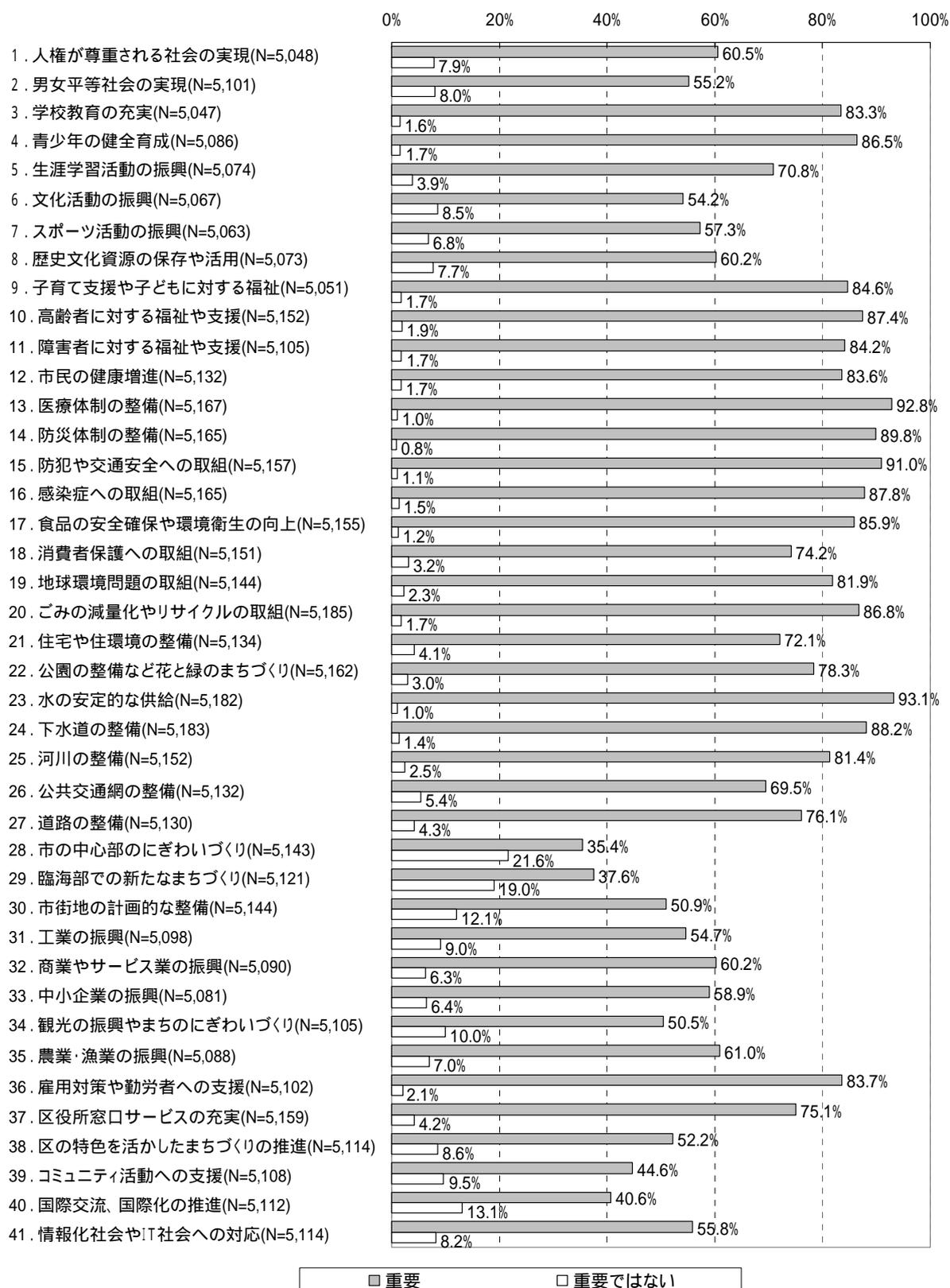


今後の重要度が高い項目は、主に生活の安全・安心と、教育・子育て・高齢者・障害者に関する分野

< 総括 >

- ・ 「重要」の割合が特に高い項目は、「13.医療体制の整備」、「14.防災体制の整備」、「15.防犯や交通安全への取組」、「23.水の安定的な供給」など主に生活の安全・安心に関する項目と、「3.学校教育の充実」、「4.青少年の健全育成」、「9.子育て支援や子どもに対する福祉」、「10.高齢者に対する福祉や支援」、「11.障害者に対する福祉や支援」。

図表 III-10 市の取組に対する「今後の重要度」(重要・重要でない別)



(注) 「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合計を「重要」、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」の合計を「重要ではない」として表した。

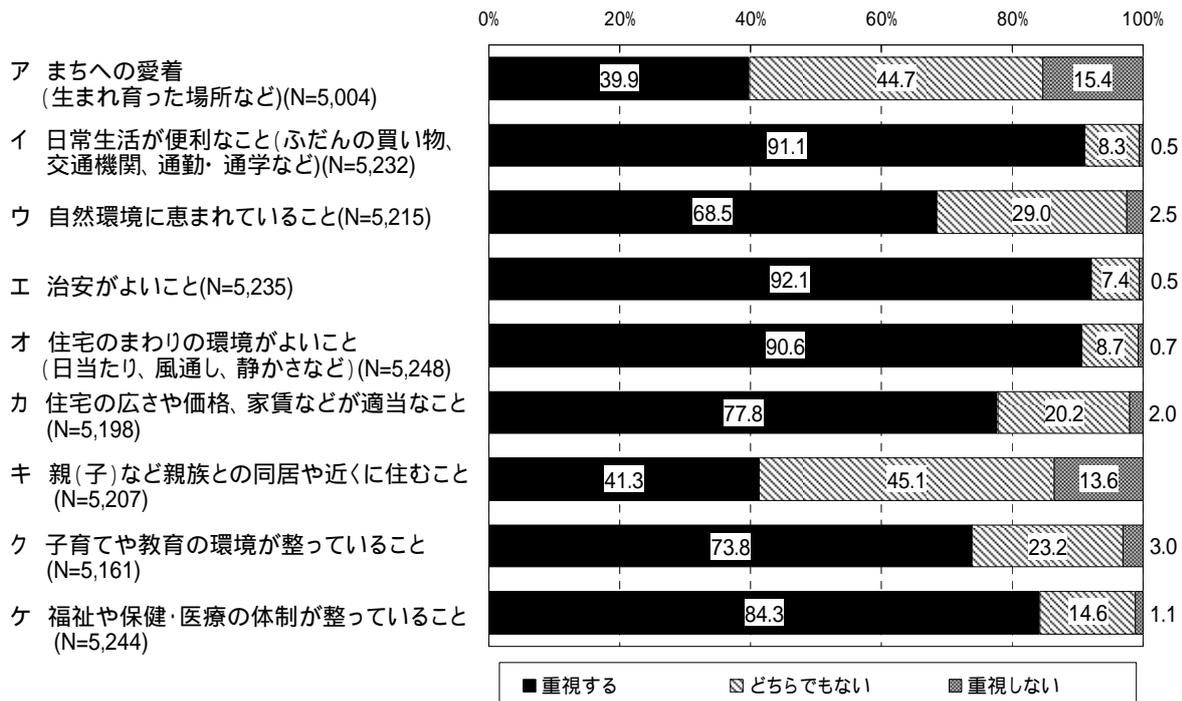
3. 住むことについて

(1) 住む場所の選び方

問4 住む場所の選び方について

あなたは、住む場所を選ぶ場合、どのようなことを重視しますか。
(ア～ケの各項目について は1つずつ)

図表 III-11 住む場所を選ぶ場合に重視すること



居住地の選択にあたっては、約9割の人が、治安、利便性、まわりの環境を重視

<総括>

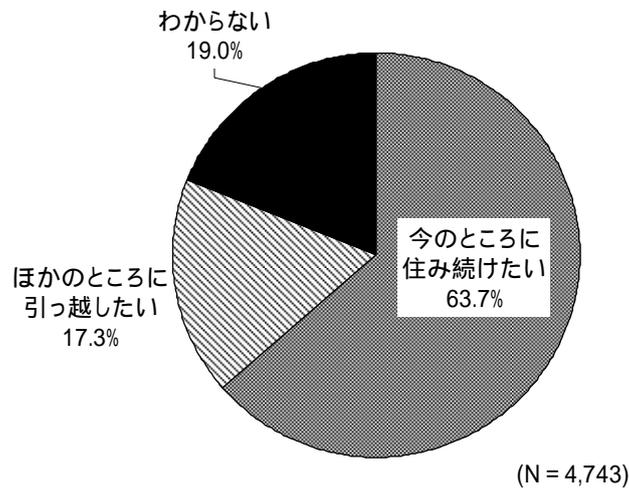
- ・ 「エ 治安がよいこと」、「イ 日常生活が便利なこと」、「オ 住宅のまわりの環境がよいこと」は約9割の人が重視。
- ・ 「ア まちへの愛着」、「キ 親(子)など親族との同居や近くに住むこと」を重視する割合は半数に満たない。

(2) 今後の定住意向について

問5 今後の定住意向について

あなたは、現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思いますか。
(1つに...)

図表 III-12 今後の定住意向



6割を超える人が、現在の場所での居住継続を希望している

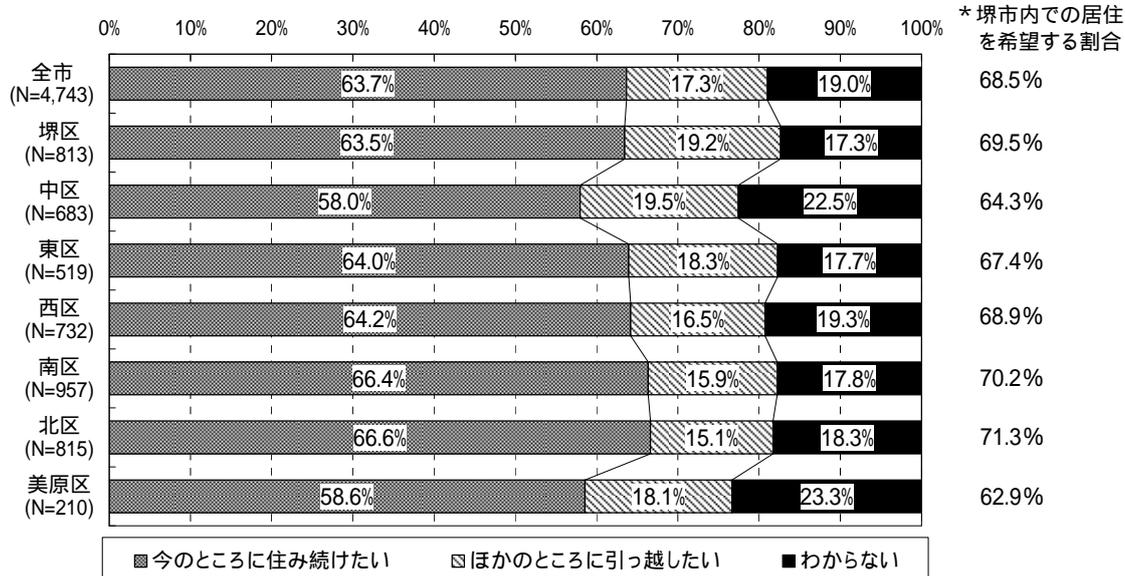
< 総括 >

- ・ 6割を超える人が「今のところに住み続けたい」と回答。
- ・ 男性は女性に比べ、「今のところに住み続けたい」の割合がやや高い。
- ・ 年代が上がるほど、定住意向が高い。
- ・ 定住意向のある人は、「身近な生活環境」に対する満足度が高い。
- ・ この問で「今のところに住み続けたい」と回答した人と、問7（引っ越したい場所について）で「堺市内」と回答した人とを合わせた「堺市内での居住を希望する割合」は、68.5%。

< 区域別 >

- ・ 「堺市内に住み続けたい」の割合は、中区・美原区で他よりやや低くなっている。

図表 III-13 区域別 今後の定住意向

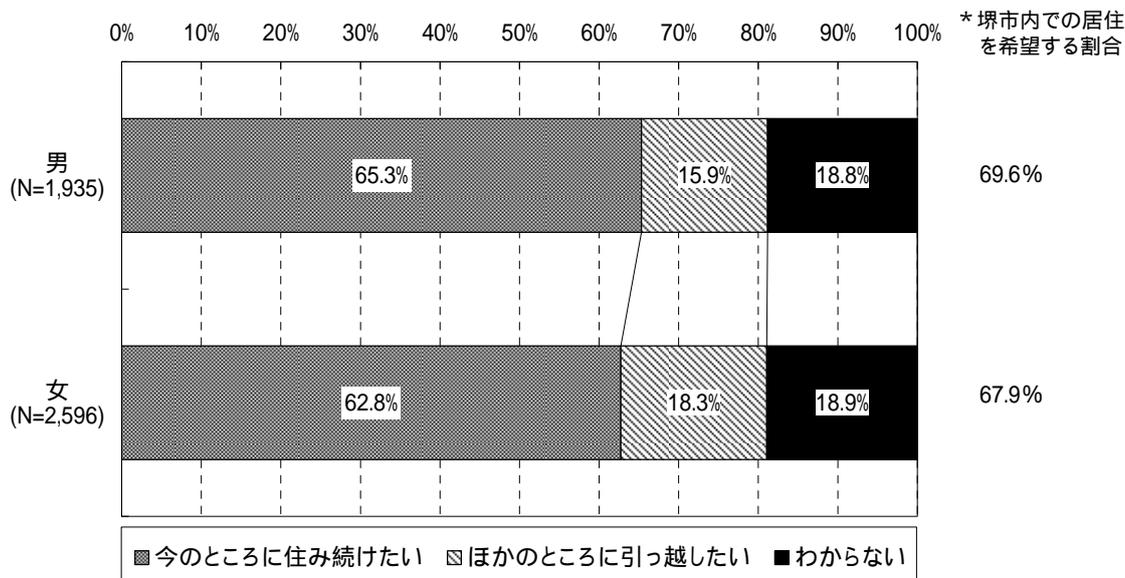


(注) 「堺市内での居住を希望する割合」は、この問で「今このところに住み続けたい」と回答した人と、問7(引っ越したい場所について)で「堺市内」と回答した人とを合わせた割合。(以下同様)

< 性別 >

- ・ 男女とも現在の場所での居住を希望する割合は6割を超える。
- ・ 「堺市内に住み続けたい」の割合は、男性が女性に比べて1.7ポイント高い。

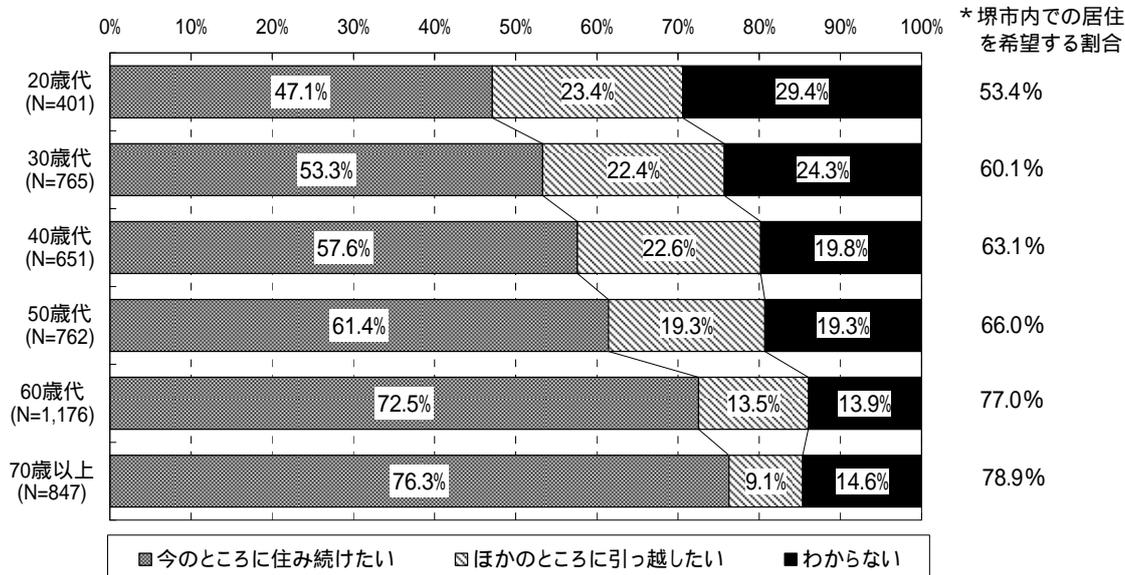
図表 III-14 性別 今後の定住意向



<年代別>

- ・ いずれの年代も、「堺市内に住み続けたい」が5割を超える。
- ・ 年代が上がるにつれて、「堺市内に住み続けたい」の割合が高くなり、60歳代と70歳以上では7割を超える。

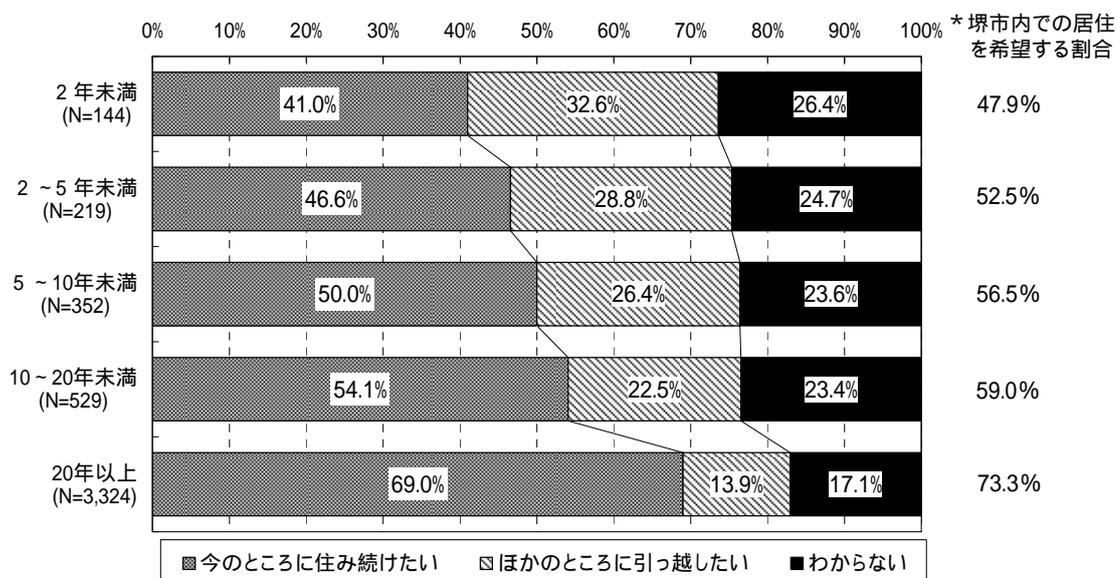
図表 III-15 年代別 今後の定住意向



<居住年数別>

- ・ 居住年数が長くなるほど、「堺市内に住み続けたい」の割合が高くなっている。

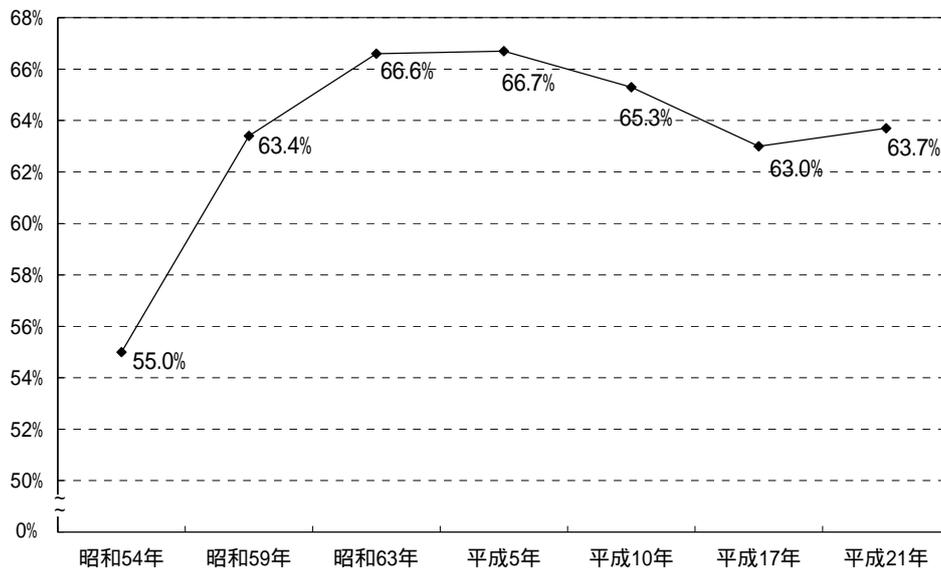
図表 III-16 居住年数別 今後の定住意向



<時系列>

- ・ 今後の定住意向を時系列で見ると、平成5年以降低下傾向にあったが、今回調査ではやや上昇している。

図表 III-17 時系列 今後の定住意向



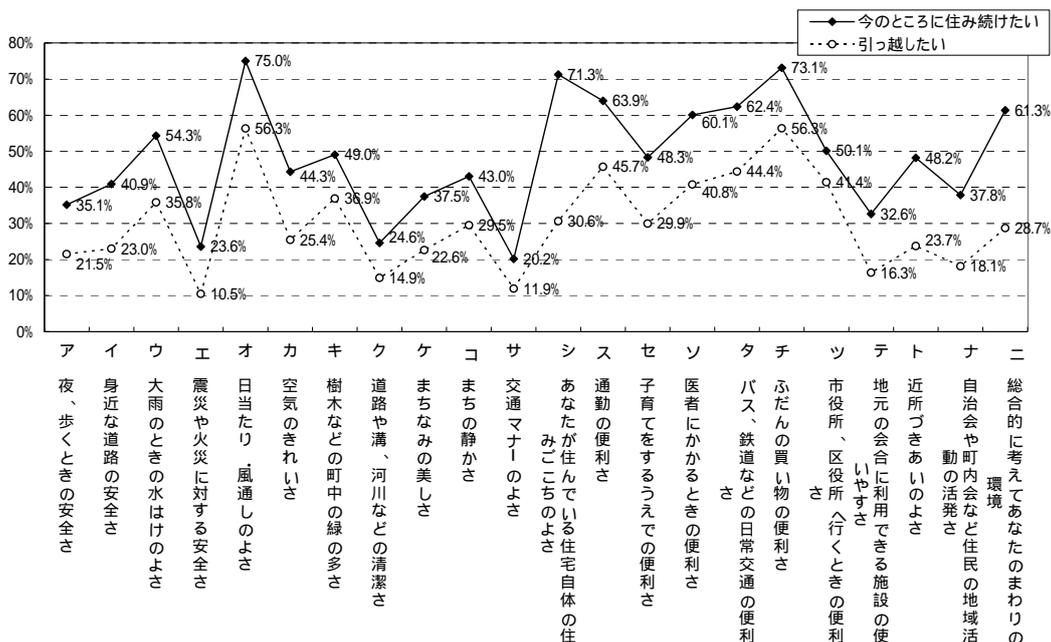
< 今後の定住意向別 身近な生活環境の満足度 >

今後の定住意向別に問1の「身近な生活環境」の満足・不満をみた。

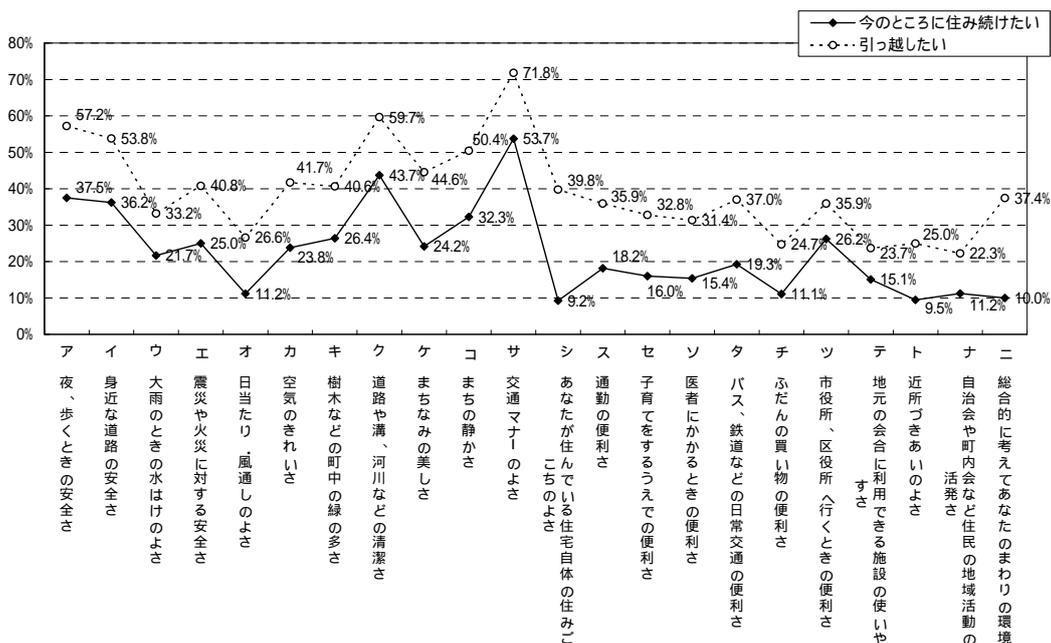
- ・ 定住希望者と転居希望者について、「身近な生活環境」の各項目に対する「満足」と「不満」の割合を比較したところ、定住希望者の方が「満足」の割合が高く、転居希望者の方が「不満」の割合が高い。
- ・ 特に差がみられるのは、「シ あなたが住んでいる住宅自体の住みごちのよさ」と「二 総合的に考えてあなたのまわりの環境」。

図表 III-18 今後の定住意向別 身近な生活環境の満足度

【満足計】



【不満計】

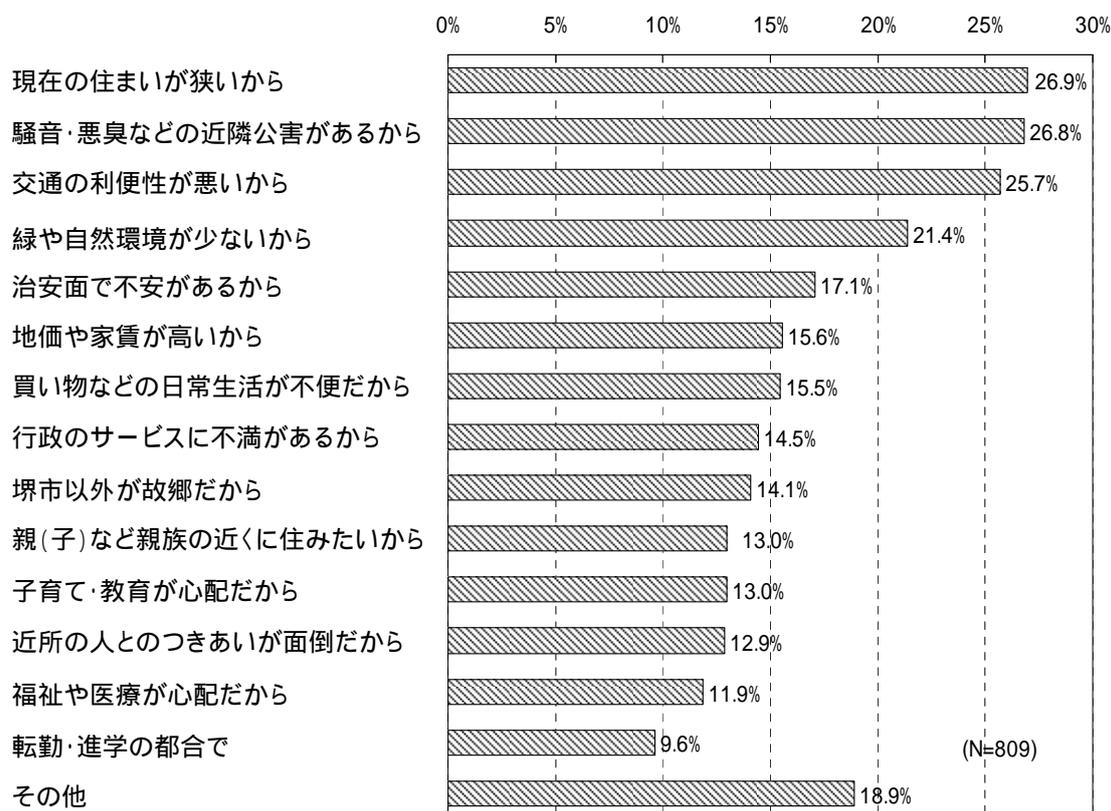


(3) 引っ越したい理由について

問6 引っ越したい理由について

問5で「2 ほかのところに引っ越したい」を選んだ方におたずねします。引っ越したい主な理由は何ですか。(あてはまるもの全てに……)

図表 III-19 引っ越したい理由



転居を希望する理由は、住まいが狭いこと、近隣公害があること、交通利便性の悪さが上位

< 総括 >

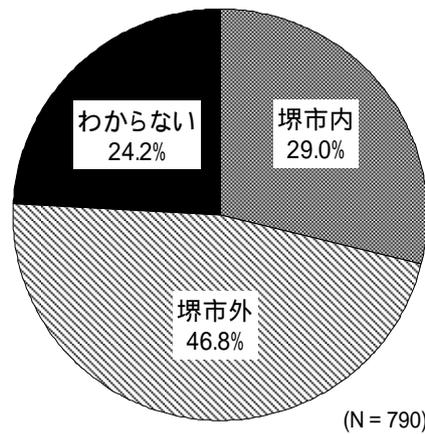
- ・ 転居希望者の約4分の1が、その理由について、「現在の住まいが狭いから」、「騒音・悪臭などの近隣公害があるから」、「交通の利便性が悪いから」と回答。
- ・ 「その他」の具体的な内容については、エレベーターや階段、段差などのバリアフリー関連や、部屋の湿気など、住宅の設備についての不満が多い。

(4) 引っ越したい場所について

問7 引っ越したい場所について

問5で「2 ほかのところに引っ越したい」を選んだ方におたずねします。引っ越したい場所はどこですか。(1つに...)

図表 III-20 引っ越したい場所



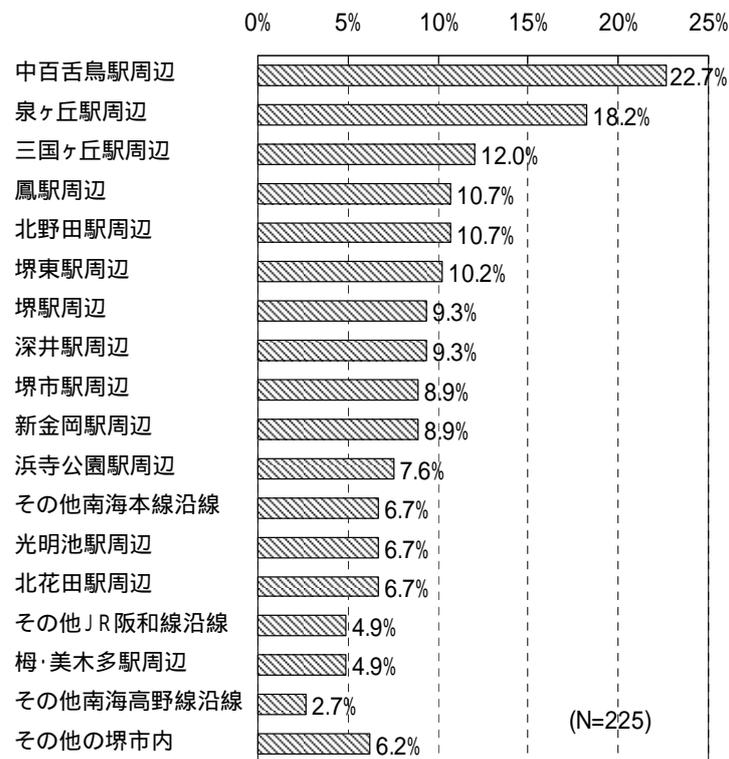
転居希望者の約半数が堺市外への転居を希望している

(5) 堺市内で引っ越したい場所について

問 8 堺市内で引っ越したい場所について

問 7 で「 1 堺市内」を選んだ方におたずねします。堺市内のどの地域に引っ越したいと思えますか。(あてはまるもの全てに)

図表 III-21 堺市内で引っ越したい場所



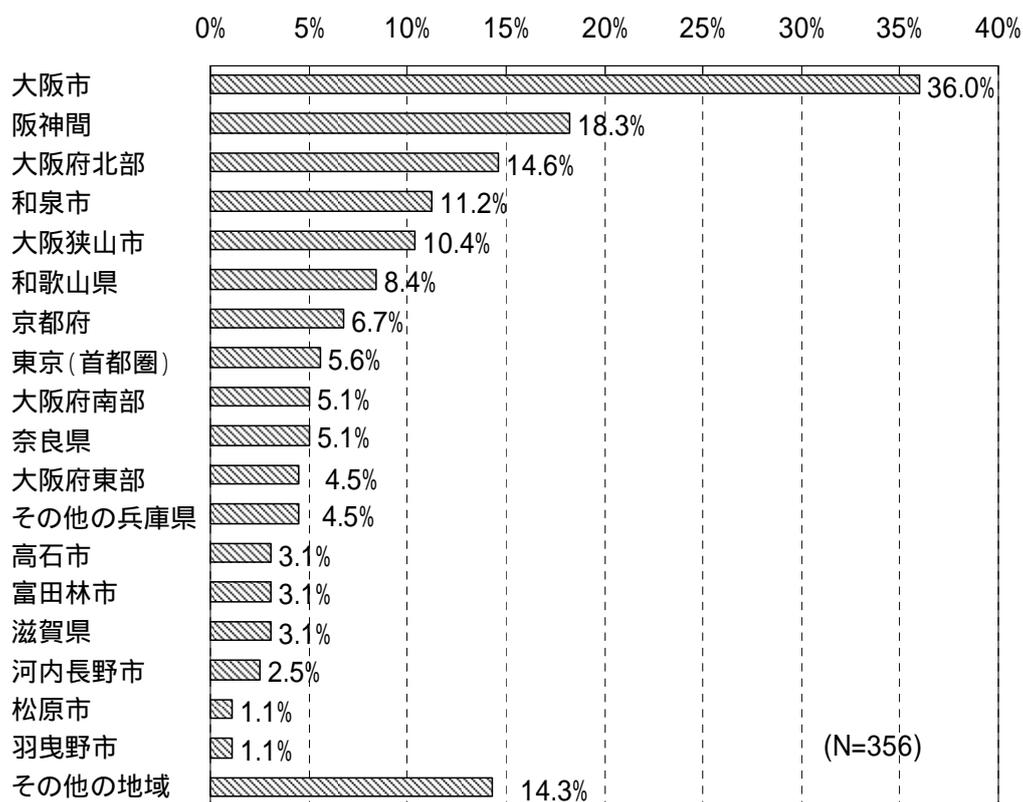
堺市内の転居希望先では、中百舌鳥駅周辺、泉ヶ丘駅周辺が上位

(6) 堺市外で引っ越したい場所について

問9 堺市外で引っ越したい場所について

問7で「2 堺市外」を選んだ方におたずねします。堺市外のどの地域に引っ越したいと思いますか。(あてはまるもの全てに)

図表 III-22 堺市外で引っ越したい場所



堺市外への転居希望者のうち、約4割が大阪市への転居を希望している

<総括>

- 堺市外の転居希望先は、「大阪市」が約4割で圧倒的に高く、次いで「阪神間」、「大阪府北部」。

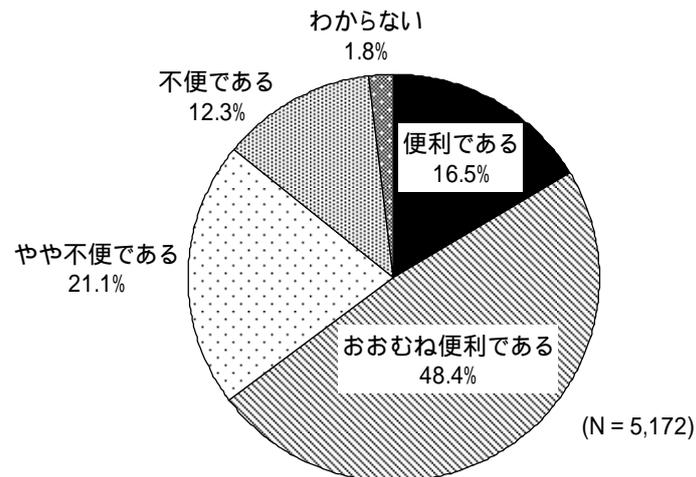
4. 堺のまちについて

(1) 公共交通の便利さについて

問10-1 公共交通の便利さについて

通勤、通学、通院、買い物など日常生活において、堺市内の鉄道やバスなどの公共交通の便利さをどのように感じていますか。(1つに)

図表 III-23 公共交通の便利さ



6割以上の方が、堺市内の公共交通が「便利」と感じている

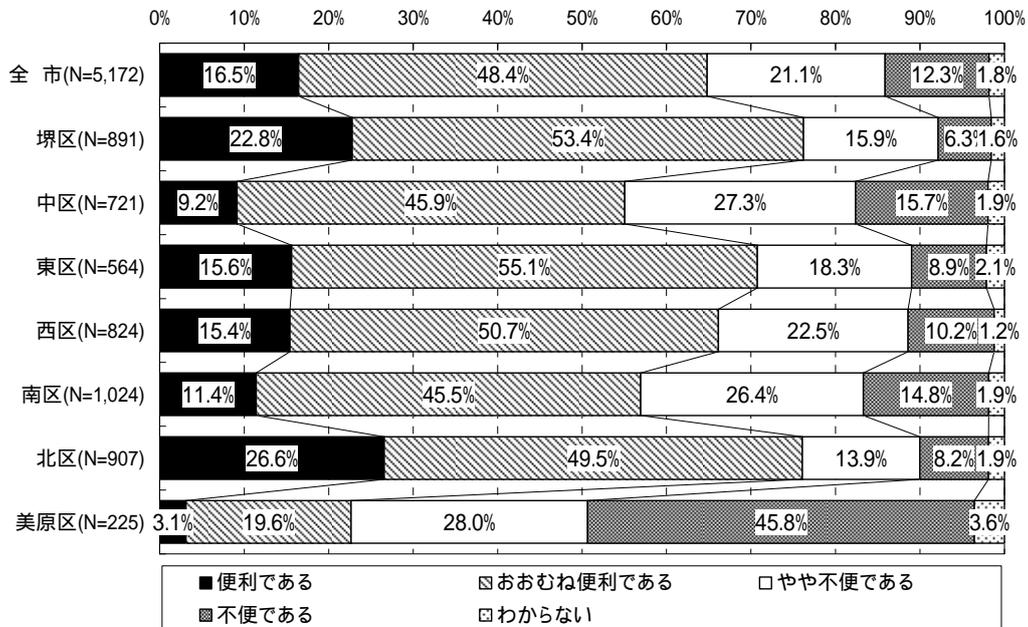
<総括>

- ・ 日常生活における堺市内の公共交通については、「おおむね便利である」と「便利である」をあわせると、6割以上が「便利」と考えている。
- ・ 堺区と北区では、8割近くの方が「便利」と回答している。
- ・ 美原区では7割以上が「不便」と回答している。

< 区域別 >

- ・ 堺区と北区では、8割近くの方が「便利」と回答。
- ・ 美原区では、7割以上が「不便」と回答。
- ・ 中区と南区でも、「不便」の割合が4割を超える。

図表 III-24 区域別 公共交通の便利さ

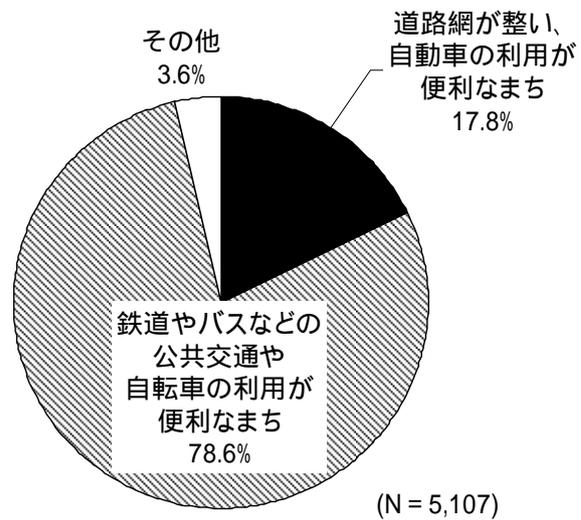


(2) 交通とまちづくりの考え方について

問10-2 交通とまちづくりの考え方について

日常生活を送るうえで、交通とまちづくりの考え方として、どちらがより望ましいと考えますか。(1つに...)

図表 III-25 交通とまちづくりの望ましい考え方



約8割が、公共交通や自転車の利用が便利なまちが望ましいと回答

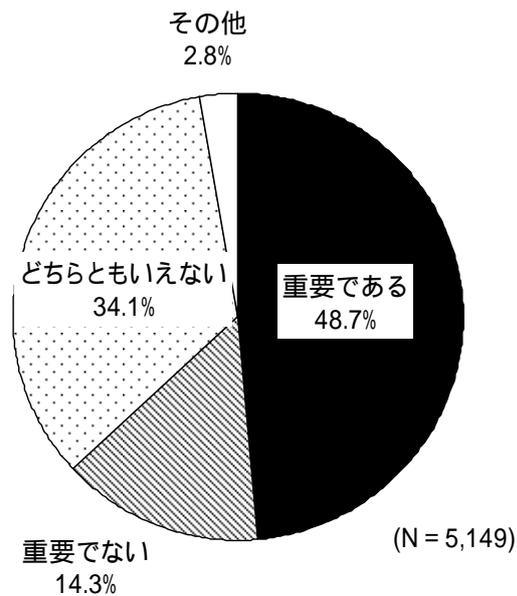
(3) 堺市内をめぐる公共交通の重要性について

問10-3 堺市内をめぐる公共交通の重要性について

堺市内を南北方向に通る鉄道を東西方向につなぎ、臨海部の堺浜・中心市街地・内陸部をつないで市内全体をめぐる公共交通網について、どのように感じますか。

(1つに)

図表 III-26 堺市内をめぐる公共交通の重要性



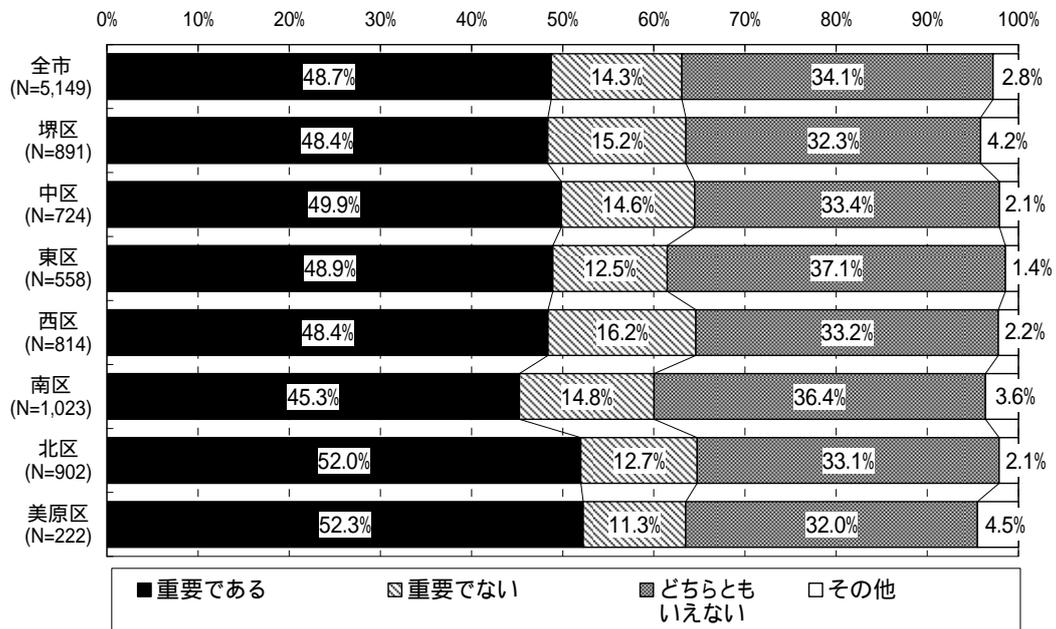
市内全体をめぐる公共交通網を重要であると回答した割合は約5割

<総括>

- ・ 堺浜・中心市街地・内陸部をつないで市内全体をめぐる公共交通網については、約5割の人が「重要である」と回答し、3割を超える人が「どちらともいえない」と回答している。
- ・ 北区と美原区では、5割以上の人が「重要である」と回答している。

< 区域別 >

図表 III-27 区域別 堺市内をめぐり公共交通の重要性

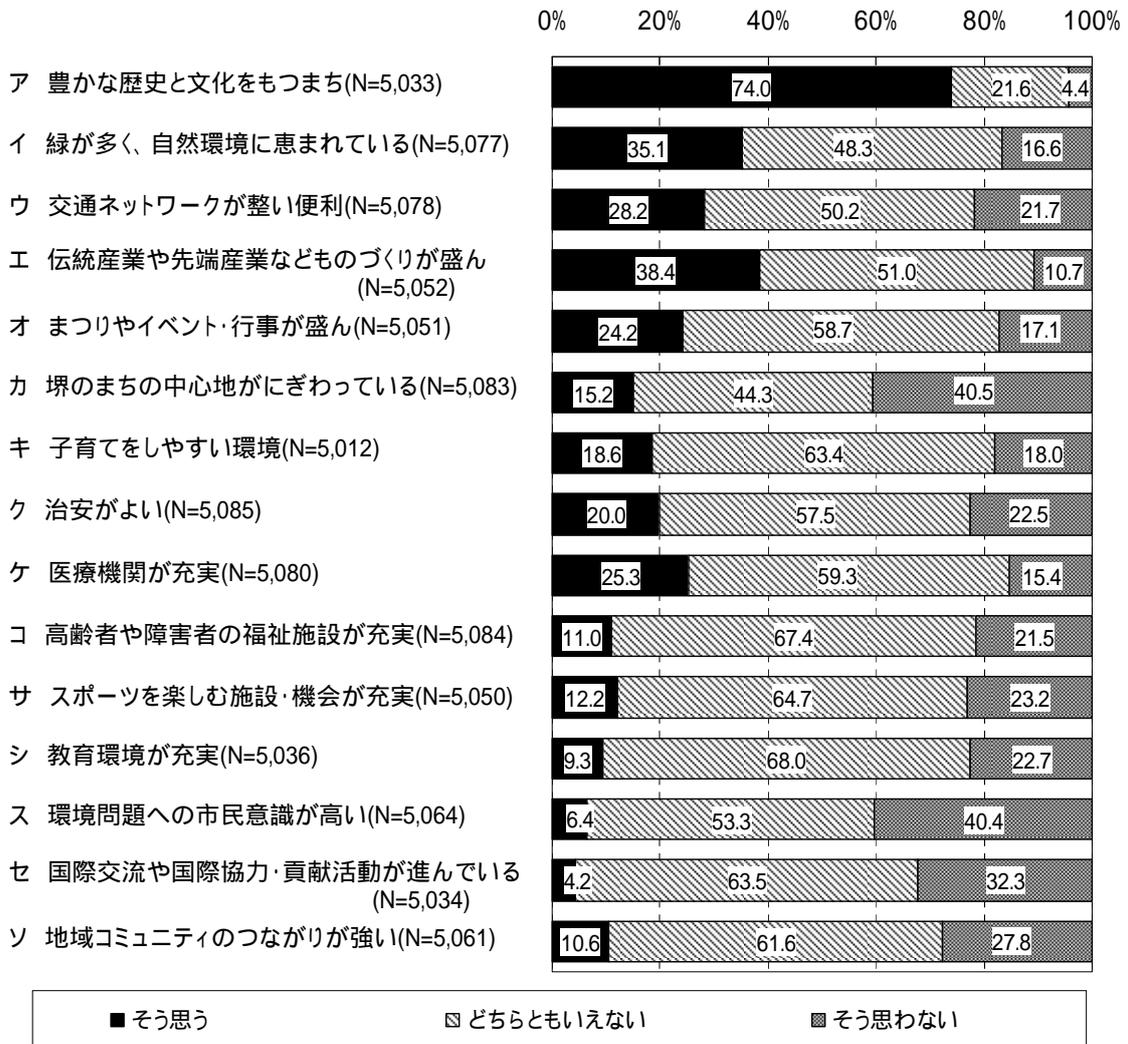


(4) 堺のまちの強み

問11 堺のまちの強みについて

あなたが堺のまちの特徴・強みだと思うこと(市外の人に自慢したいこと)は何ですか。
(ア~ソの各項目に は1つずつ)

図表 111-28 堺のまちの特徴・強みだと思うこと



7割を超える人が、豊かな歴史と文化が堺市の強みであると回答

< 総括 >

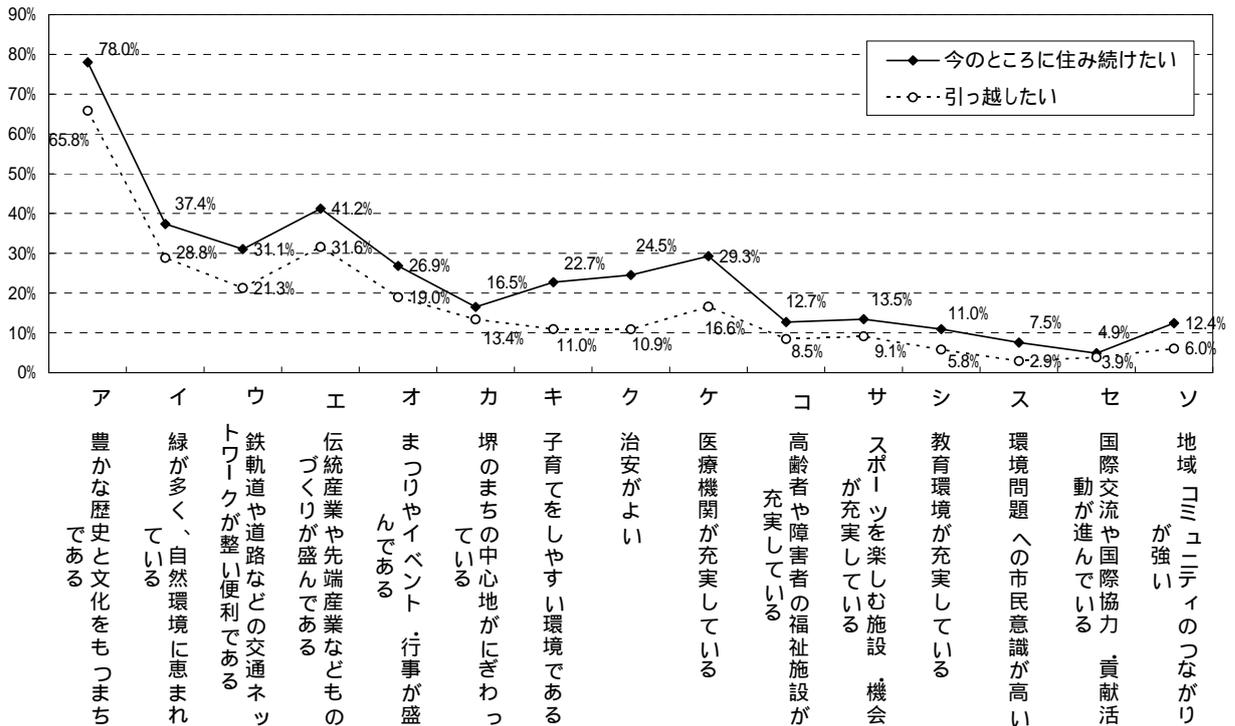
- ・ 7割を超える人が「ア 豊かな歴史と文化をもつまちである」について「そう思う」と回答。
- ・ 「カ 堺のまちの中心地（堺東駅・堺駅）がにぎわっている」と「ス 環境問題への市民意識が高い」については、約4割が「そう思わない」と回答。
- ・ 定住意向別で、定住希望者と転居希望者では、治安、医療機関、子育て環境に対する回答に差が大きい。

< 今後の定住意向別 堺のまちの特徴・強みだと思うこと >

問5の今後の定住意向別に「堺のまちの特徴・強みだと思うこと」の割合をみた。

- ・ 定住希望者と転居希望者について、まちの特徴・強みに対する回答を比較すると、「ク 治安がよい」、「ケ 医療機関が充実している」、「キ 子育てをしやすい環境である」の3つで特に割合の差が大きい。

図表 III-29 今後の定住意向別 堺のまちの特徴・強みだと思うこと

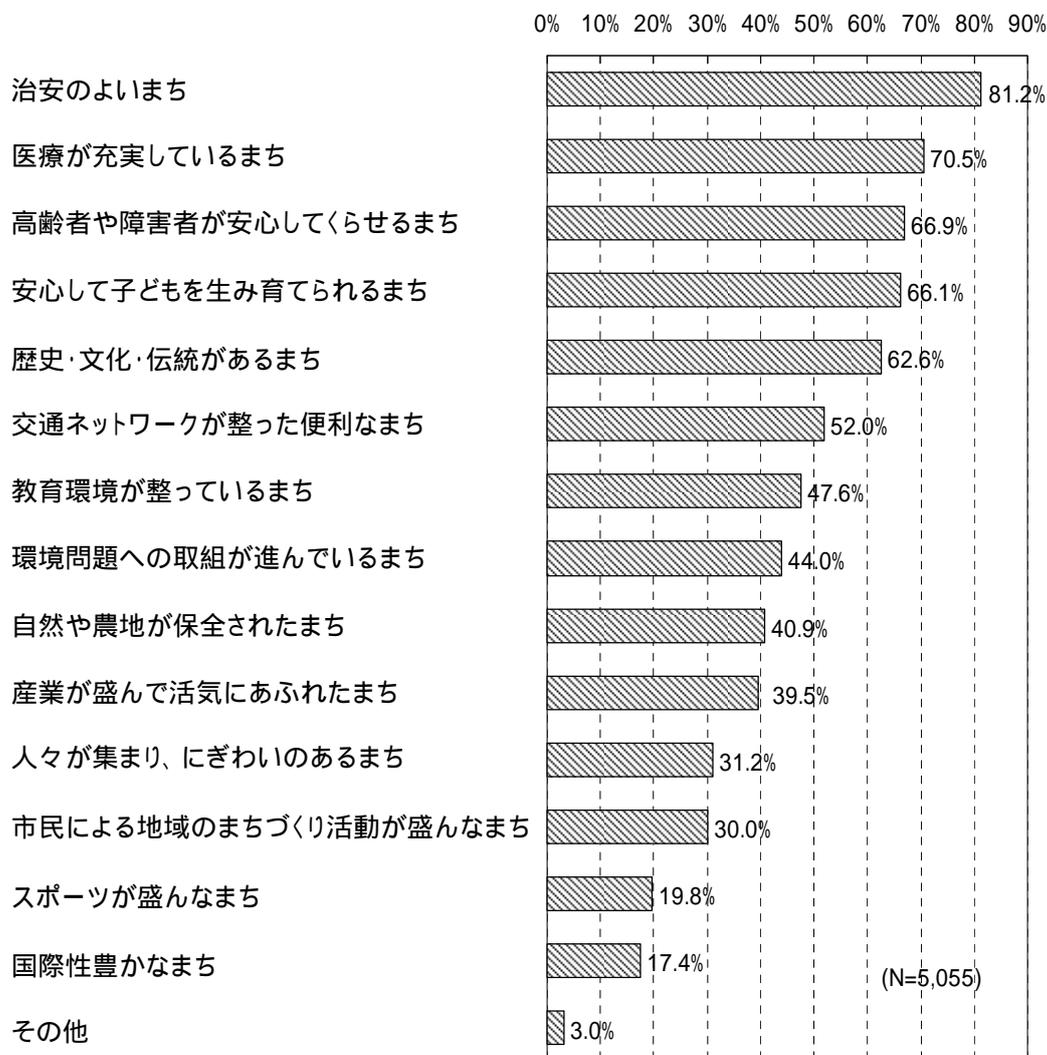


(5) 将来のまちのイメージ

問12 将来のまちのイメージについて

将来の堺のまちについて、どのようなイメージ（特徴）をもったまちにしていきたいですか。（あてはまるもの全てに）

図表 III-30 将来のまちのイメージ



「治安のよいまち」を将来イメージとして選んだ人が8割を超える

*治安、医療、高齢者、障害者、子育て関連の安全安心に関する項目が上位

< 総括 >

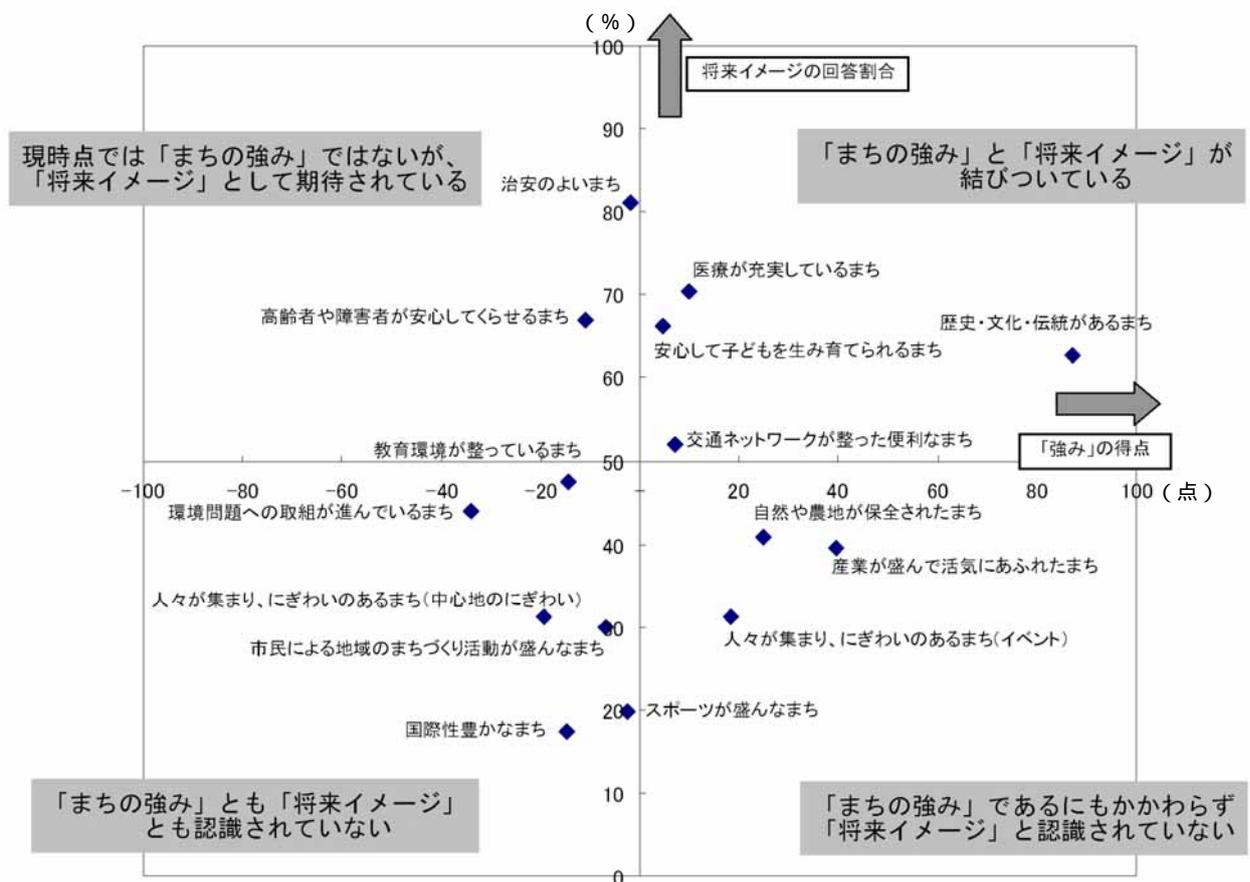
- ・ 8割以上が「治安のよいまち」を将来イメージとして選択。
- ・ 「医療が充実しているまち」、「高齢者や障害者が安心してらせるまち」、「安心して子どもを産み育てられるまち」は、概ね7割の人が選択。
- ・ 将来イメージ(問 12)とまちの強み(問 11)が結びついている項目は、「歴史・文化・伝統があるまち」、「医療が充実しているまち」、「安心して子どもを産み育てられるまち」、「交通ネットワークが整った便利なまち」。

< 「まちの強み」と「将来のまちのイメージ」のクロス分析 >

問 11 「まちの強み」と問 12 「将来のまちのイメージ」の結びつきを分析した。

- ・ 「まちの強み」を得点化した値を横軸に、「将来のまちのイメージ」への回答割合を縦軸にとって、強み・イメージの項目を散布図に表し、「まちの強み」の認識が「将来のまちのイメージ」に結びついているかを確認した。
- ・ 「まちの強み」と「将来のまちのイメージ」が結びついている項目は、「歴史・文化・伝統があるまち」、「医療が充実しているまち」、「安心して子どもを産み育てられるまち」、「交通ネットワークが整った便利なまち」。
- ・ また、現時点では「まちの強み」とは認識されていないものの、「治安のよいまち」、「高齢者や障害者が安心して暮らせるまち」の2項目は、「将来のまちのイメージ」として期待されていると考えられる。
- ・ 一方、「まちの強み」として認識されているにもかかわらず、「将来のまちのイメージ」とは結びついていない項目は、「産業が盛んで活気にあふれたまち」、「自然や農地が保全されたまち」、「人々が集まり、にぎわいのあるまち(イベント)」。

図表 III-31 「まちの強み」と「将来のまちのイメージ」のクロス分析結果



(注1) 「強み」の得点については、「そう思う」を1点、「そう思わない」を-1点、「わからない」を0点として算出した。

(注2) 項目ラベルは「将来のまちのイメージ」の項目を表示している。

平成 21 年度市民意識調査報告書

平成 22 年 3 月

編集：堺市財政局企画部

発行：堺市

堺市行政資料番号：1-C1-09-0324